

最近の経済動向

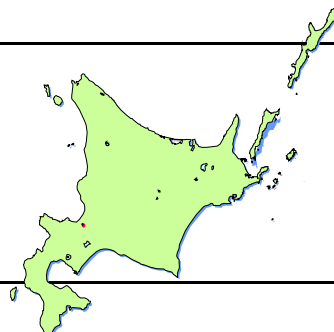
平成25年7月号

本道経済は、持ち直しの動きが続いている

北海道の景気概況

P 1 ■企業のみなさまから伺いました

P 4 ■景気動向指数



需要動向（消費・投資）

P 5 ■個人消費 ~ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

P 7 ■住宅建設 ~ 持ち直しの動きが続いている

P 8 ■公共工事 ~ 増加の傾向にある

P 8 ■観光 ~ 持ち直している

企業活動と雇用、物価等

P 9 ■生産活動 ~ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

P 10 ■電力 ~ 電力需要は前年を上回り、大口電力は前年を下回った

P 12 ■輸出入 ~ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

P 13 ■企業倒産 ~ 件数、負債総額とも前年を下回った

P 14 ■雇用 ~ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直してきている

P 17 ■物価 ~ 消費者物価指数は前年を上回った

地域、全国の経済動向

P 18 ■地域の経済動向

P 24 ■全国の経済動向

編集・発行：北海道総合政策部政策局経済調査課

TEL 011-204-5139

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/>

■ 企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（6月）

【気温が上昇し夏物商材の稼働で売上が増加した】

6月は気温が上昇し夏物商材が稼働し売上が増加した。

婦人服ではストレッチ素材で柄やアクセントのあるクロップドパンツ等が好調だった。紳士服では夏素材の需要が高まり半袖ワイシャツの需要が伸びた。

また、婦人用のアイテムは、美白や紫外線対策の化粧品や、手袋、日傘、夏物素材のハンドバッグ、靴ではサンダルの動きがよかった。寝具では、夏物の肌掛け布団の引き合いが強まった。

【高額商品の売上は引き続き堅調】

円安による海外高級ブランドの値上げが続いており、一部に駆け込み需要の動きがみられた。

また、高級輸入時計の売上げも引き続き好調だった。

◆スーパーマーケット（6月）

【高気温と好天の影響で焼肉関連商材や涼味商材の売上が好調】

6月は、高気温と好天に恵まれたため、豚肉の味付け肉、焼き肉用の牛肉、ヤキトリ、味付きジنگスカン、ウインナーなどの焼肉関連商材や炭酸飲料、乾麺などの涼味商材の売上が好調であった。

また、気温が高く、家庭内での揚げ物調理が敬遠されたためか、フライ類や天ぷらなどの惣菜の売上げも好調であった。

【気温の影響により青果物の売上が低調】

低気温の影響で生育が遅れたメロンや産地の異常な高温により生育が悪くなったアメリカンチェリーなどは、市場に出回る数量が減少したため、売上が伸び悩んだ。

また、キャベツや玉ねぎも、高温の影響で家庭内での調理が敬遠されたためか、昨年より単価は下がっているものの、売上が鈍かった。

◆コンビニエンスストア（6月）

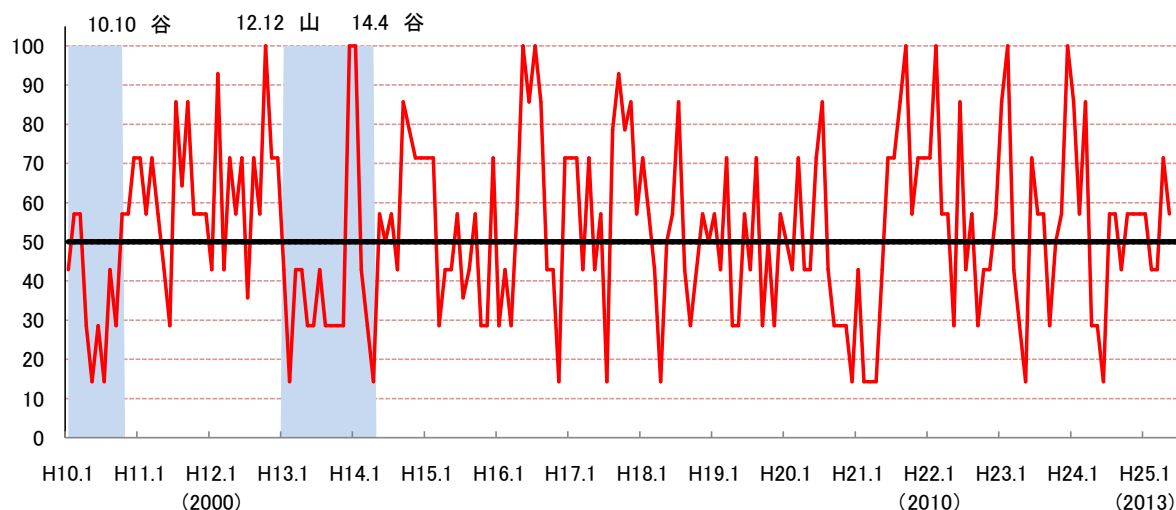
【天候安定するも、最終週で水を差す】

6月は3週目までは天候もよく、気温も平年より高めで安定して推移したことから、来客数が増加し始め、清涼飲料水やミネラルウォーター、アイス類などのいわゆる夏型商品の売り上げが好調で、いずれも前年同期比プラスとなっている。弁当や総菜も前年同期比プラスとなっており、その他の商品も（カップ麺やパン類など気温が上昇すると売れにくくなる商品以外は）前年同月の売上近くまで回復している。これらの実態から、少しずつではあるが、消費者の購買行動に積極性が出始めているように感じる。

ただし、6月24日からの週は天候が安定せず、平年に比べて4度ほど平均気温が下がり、外出（買い物）に出る意欲を減退させる格好になったため、前年比を伸ばすまでには至らなかった。

■ 景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		24/ 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/ 1月	2月	3月	4月	5月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+
	生産指数(生産財)	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	+
	新設住宅着工戸数	-	+	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	+	-	+	-	+	+	-	+	+	-	-
	企業業況判断D.I.	+	+	+	+	+	0	0	0	-	-	-	+	+
	拡張系列数	4	6	5	5	5	2.5	3.5	4.5	2	3	2	3	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	57.1	85.7	71.4	71.4	71.4	35.7	50.0	64.3	28.6	42.9	28.6	42.9	p57.1
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	p-
	出荷指数(生産財)	-	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	p-
	大口電力使用量	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	+	+
	百貨店販売額(既存店)	+	-	-	+	-	+	+	+	-	-	+	+	p+
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	-	+	+	+	+	-	+	+	-	-	-	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	-	+	-	+	+	+	+	+	+	-	-	p-
	拡張系列数	2	1	4	4	3	4	4	4	4	3	3	5	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	28.6	14.3	57.1	57.1	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	42.9	71.4	p57.1
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	0	0
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-
	生産指数(資本財)	-	-	-	-	+	-	+	-	-	-	-	-	p-
	拡張系列数	3	2	2	1	3	2	3	1	2	2	1	1.5	0.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	60.0	40.0	40.0	20.0	60.0	40.0	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	30.0	p12.5

(注) 1 北海道総合政策部政策局経済調査課 試算。Pは速報値(以下同様)。

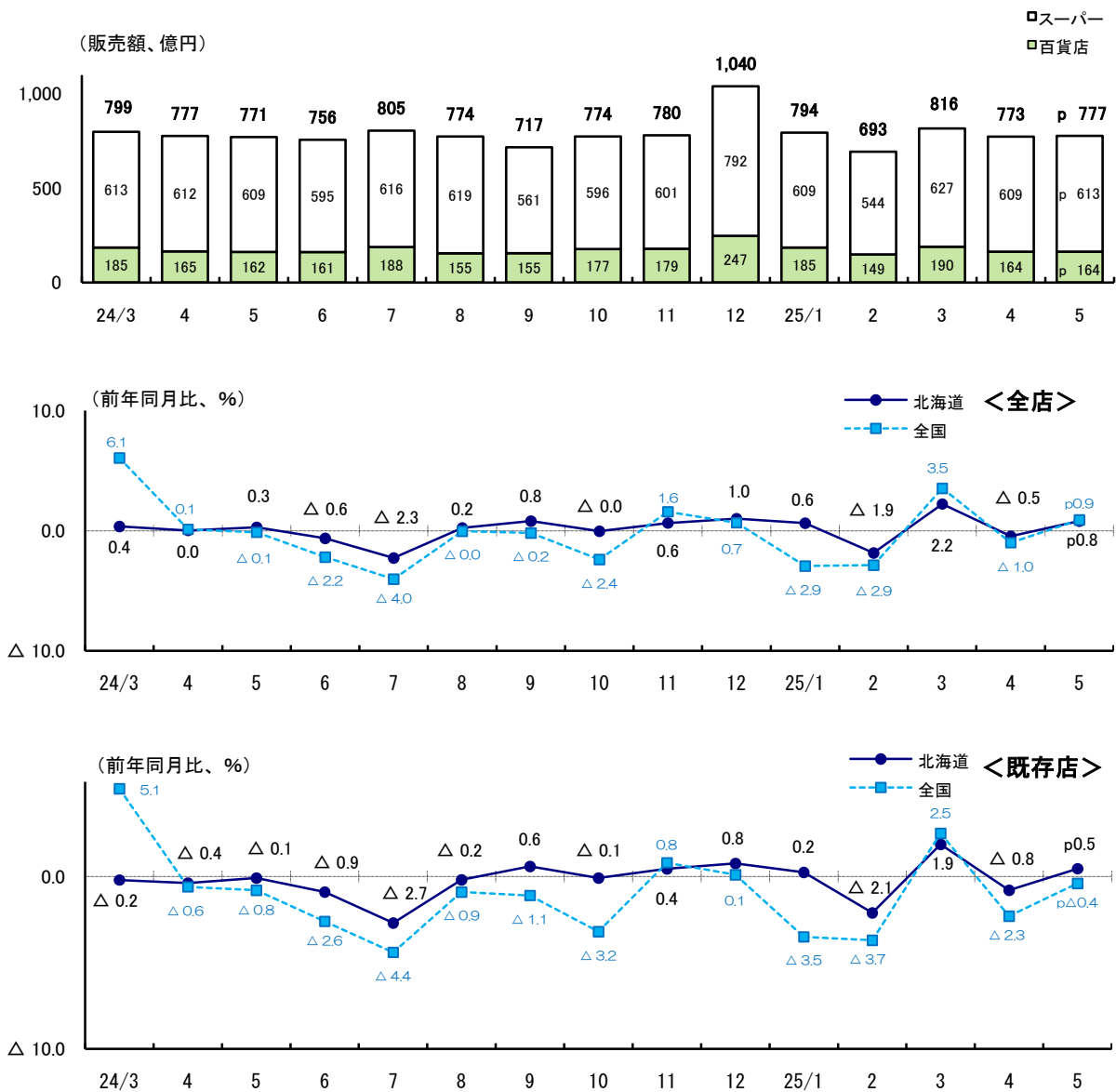
2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■個人消費～ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

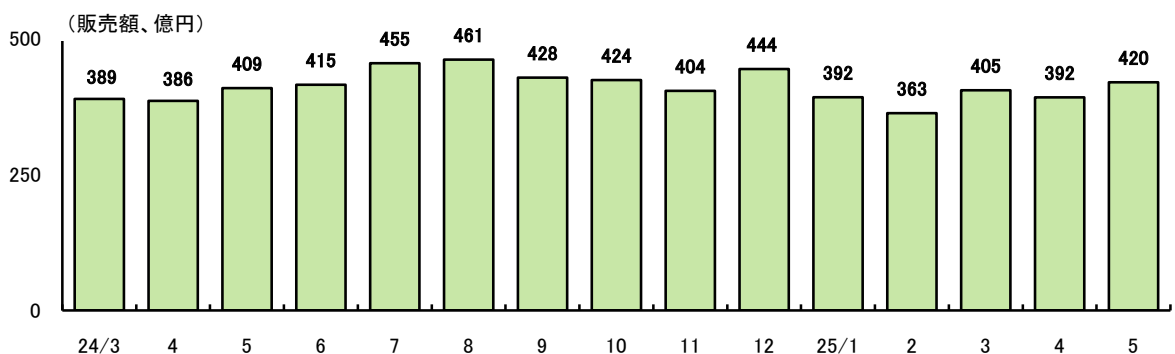
◆大型小売店販売額(5月)◆

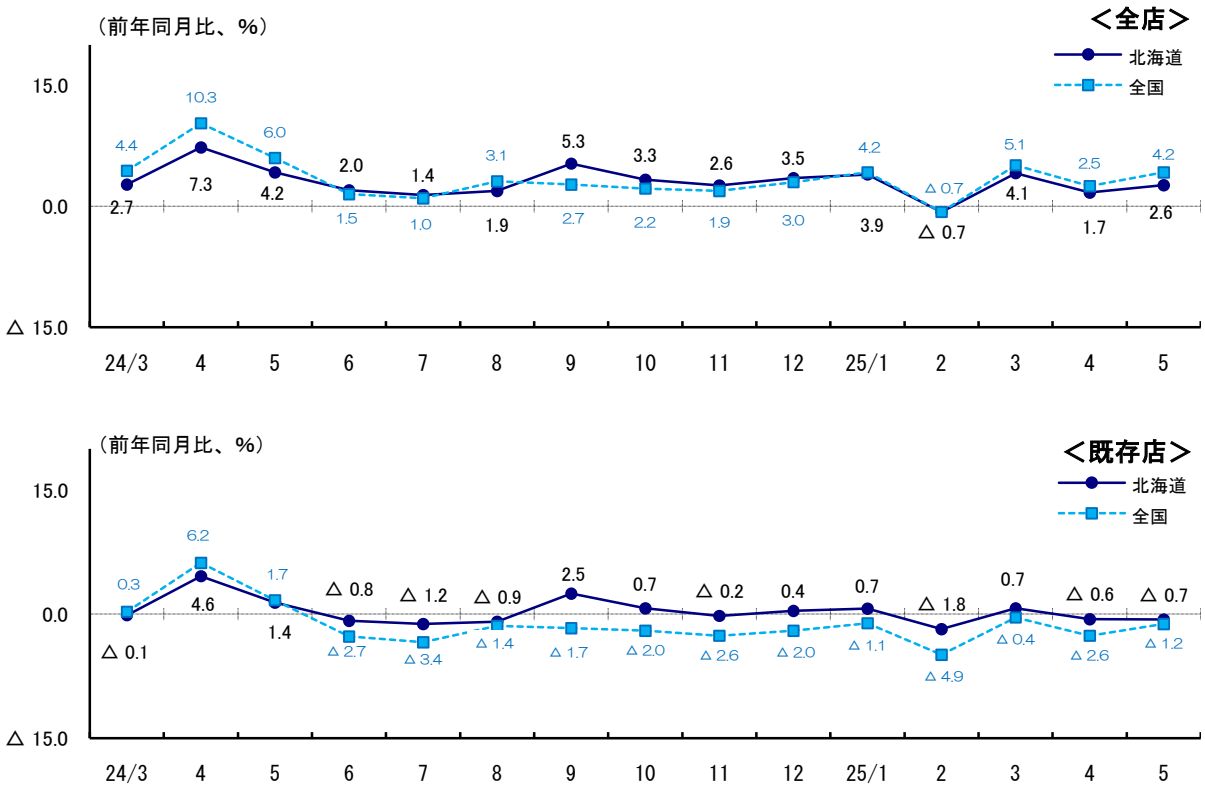
全店ベースで777億円、前年同月比0.8%増と2か月ぶりに前年を上回り、既存店ベースでは同0.5%増と2か月ぶりに前年を上回った。



◆コンビニエンスストア販売額(5月)◆

全店ベースで420億円、前年同月比2.6%増と3か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同0.7%減と2か月連続で前年を下回った。

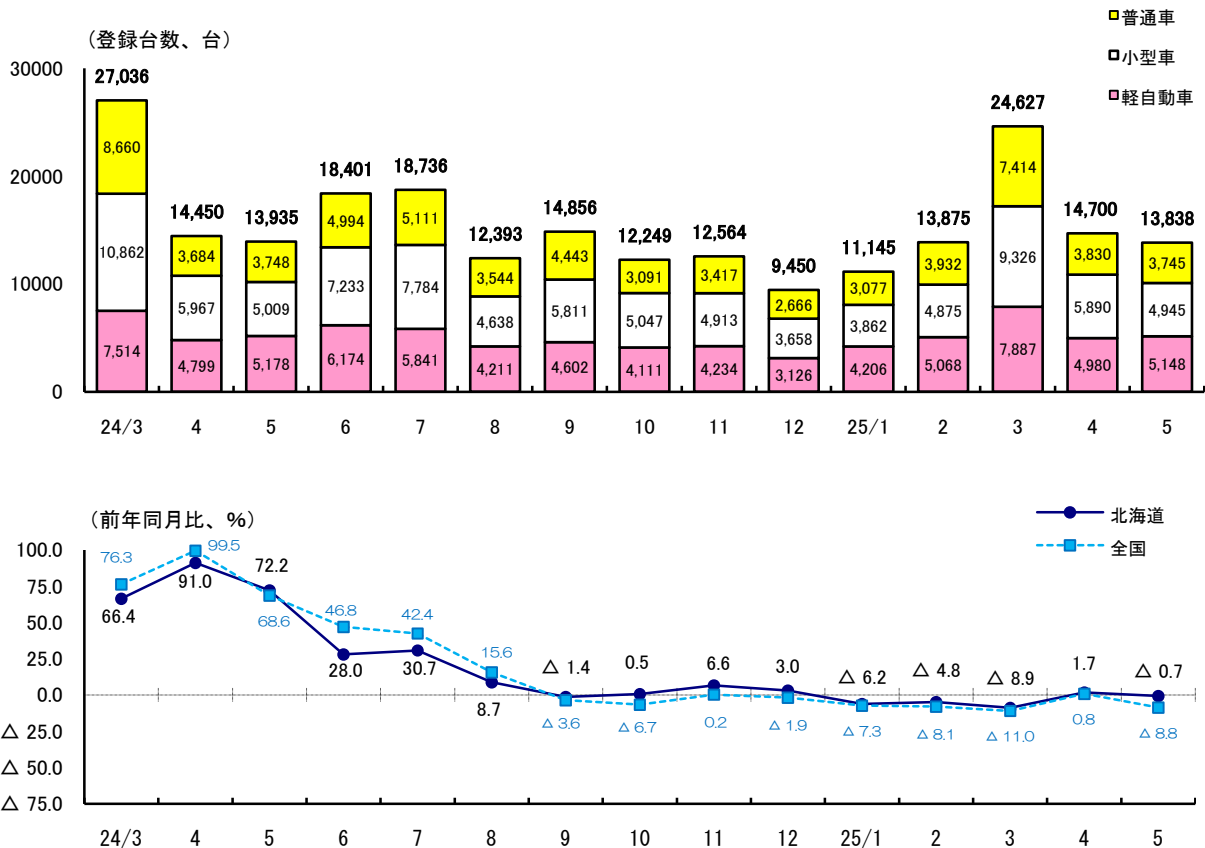




(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

◆新車登録台数(5月)◆

新車登録台数は13,838台、前年同月比0.7%減と2か月ぶりに前年を下回った。



(※ H23/12 エコカー補助金復活)

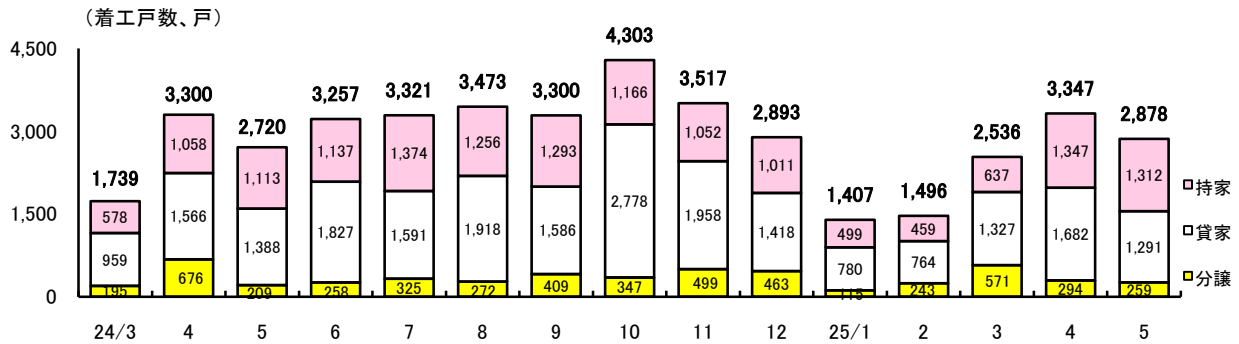
※ H24/9 エコカー補助金終了

(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

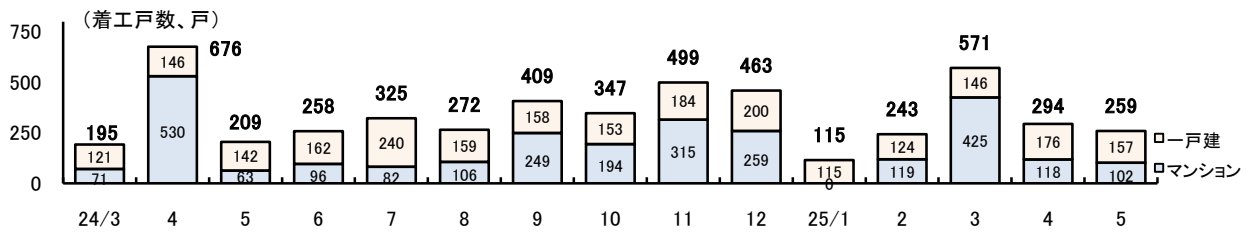
■住宅建設 ～ 持ち直しの動きが続いている

◆新設住宅着工戸数(5月)◆

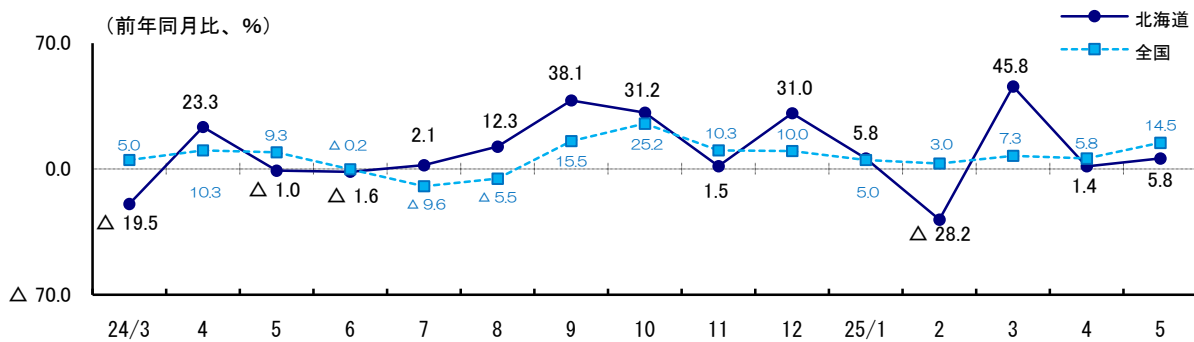
総戸数2,878戸、前年同月比5.8%増と3か月連続で前年を上回った。



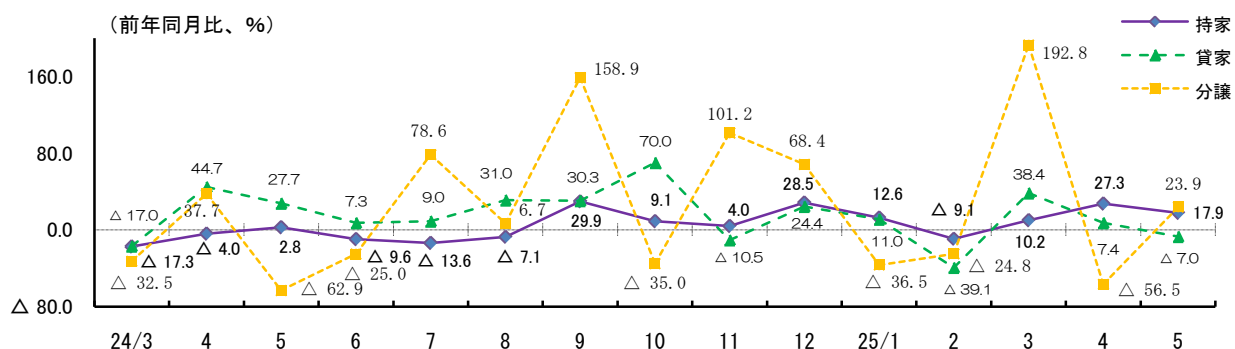
●分譲の内訳



※ 長屋建てを除くため、内訳と合計は一致しない。



持家、分譲が、前年を上回ったが、貸家が前年を下回った。

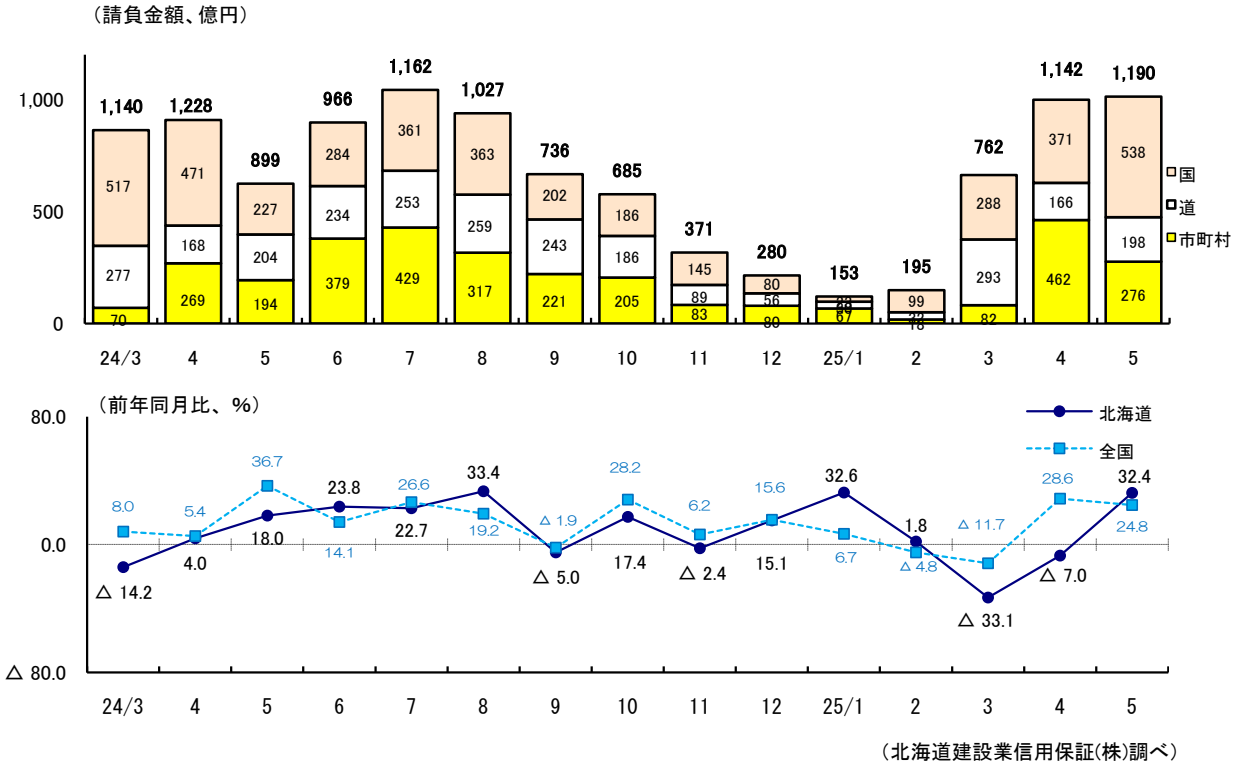


(国土交通省調べ)

■公共工事～ 増加の傾向にある

◆公共工事請負金額(5月)◆

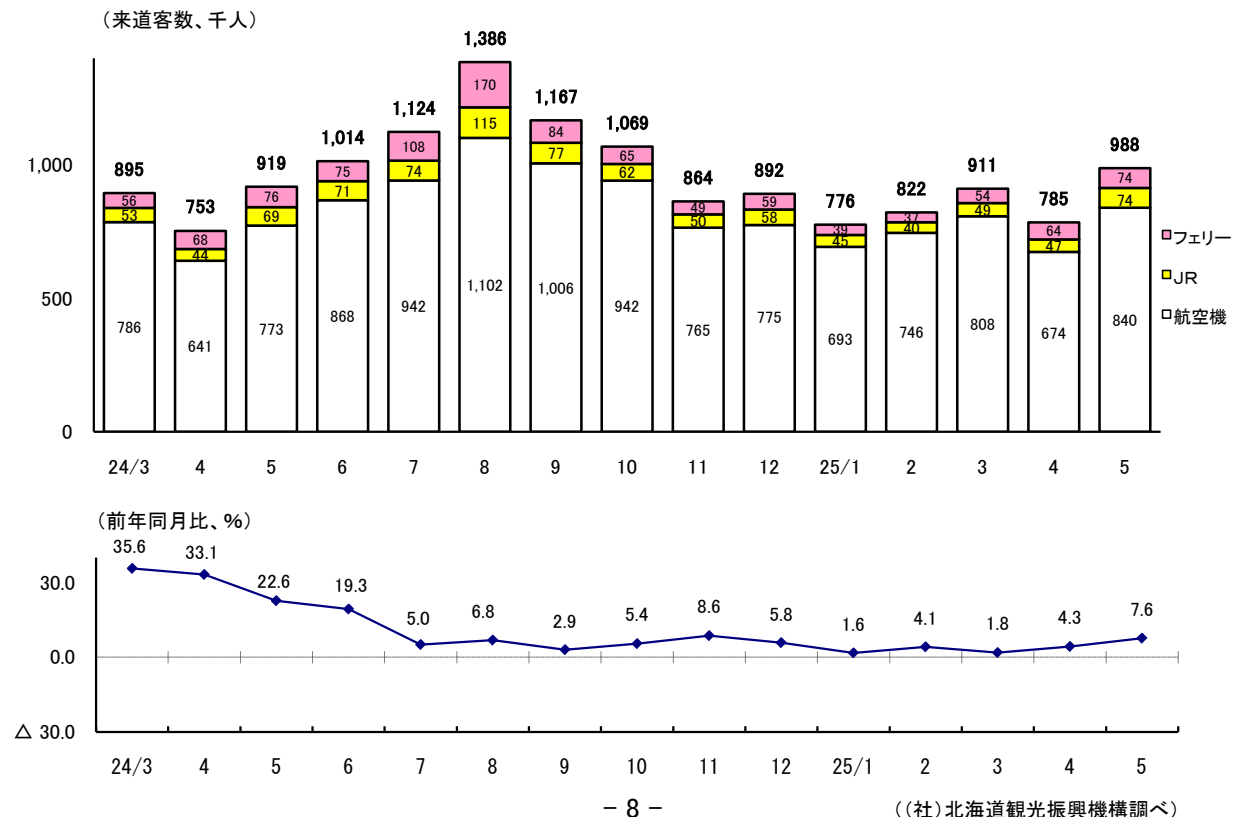
請負金額は1,190億円、前年同月比32.4%増と3か月ぶりに前年を上回った。



■観光～ 持ち直している

◆来道客数(5月)◆

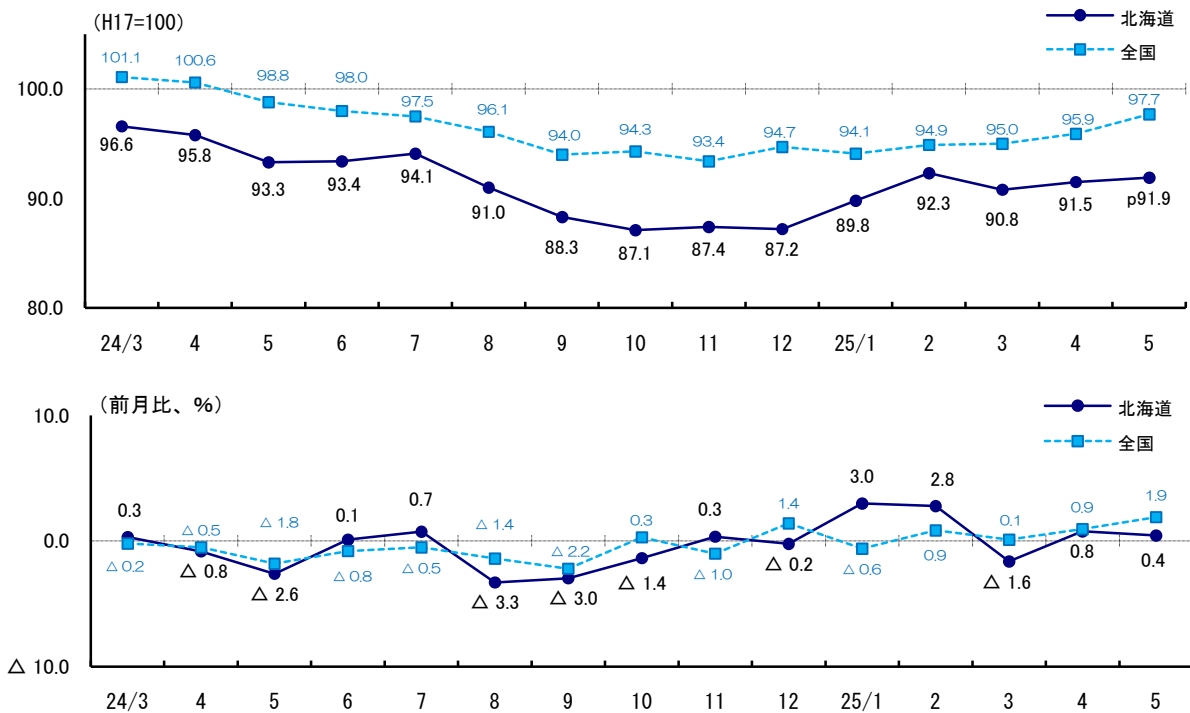
来道客数は99万人、前年同月比7.6%増と15か月連続で前年を上回った。



■生産活動～ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

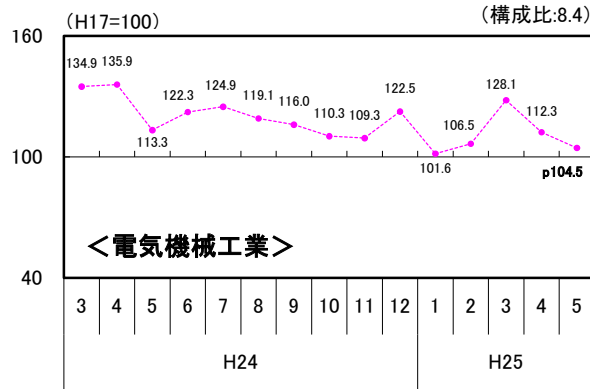
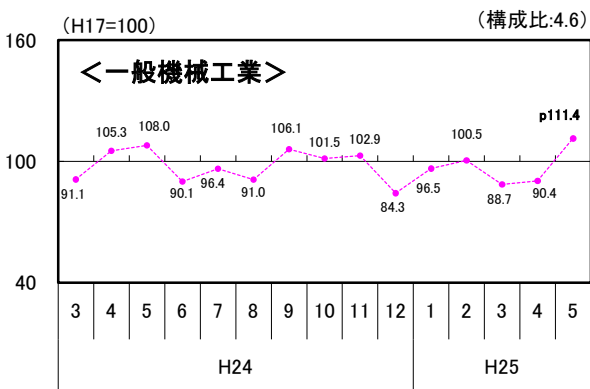
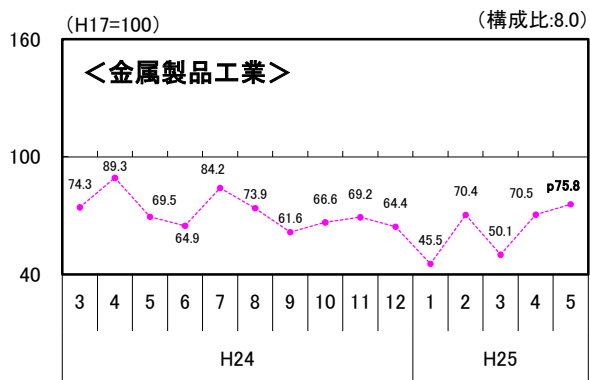
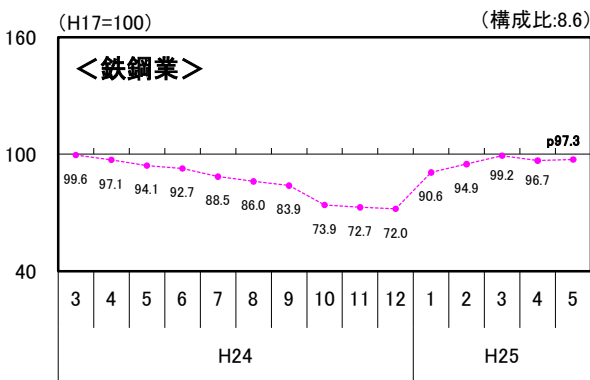
◆鉱工業生産指数（5月）◆

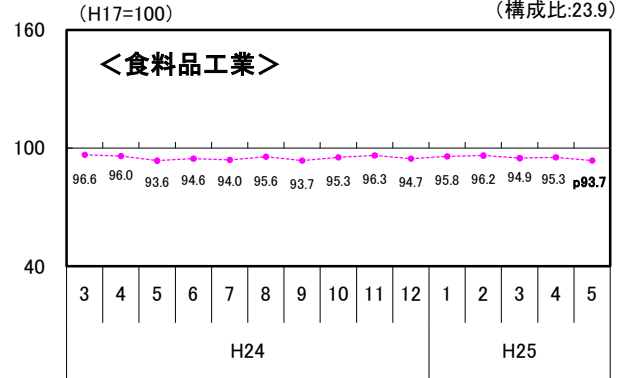
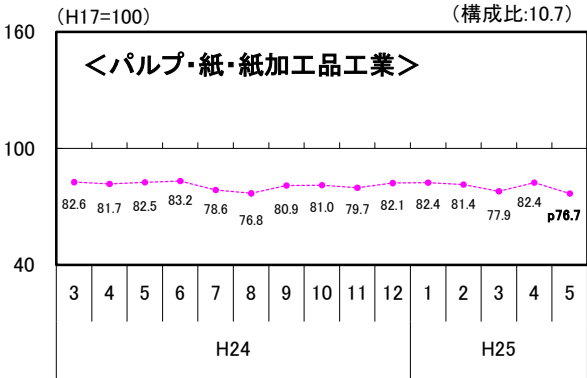
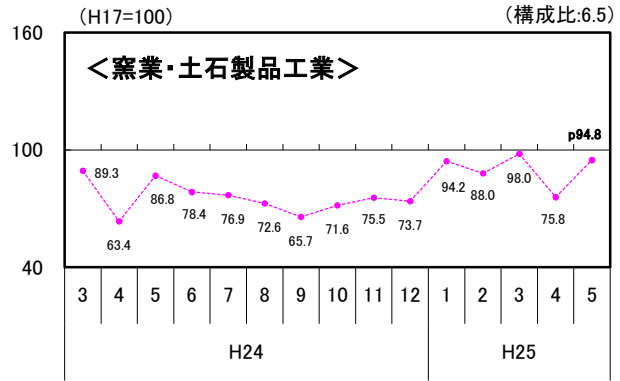
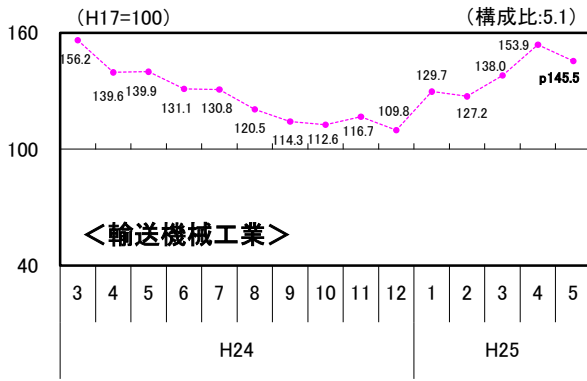
季節調整済指数で91.9、前月比0.4%増と2か月連続で前年を上回った。



※(H22=100)全国

業種別では、季節調整済指数で鉄鋼業、金属製品工業、一般機械工業、窯業・土石製品工業が上昇したものの、電気機械工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食品工業は低下した。



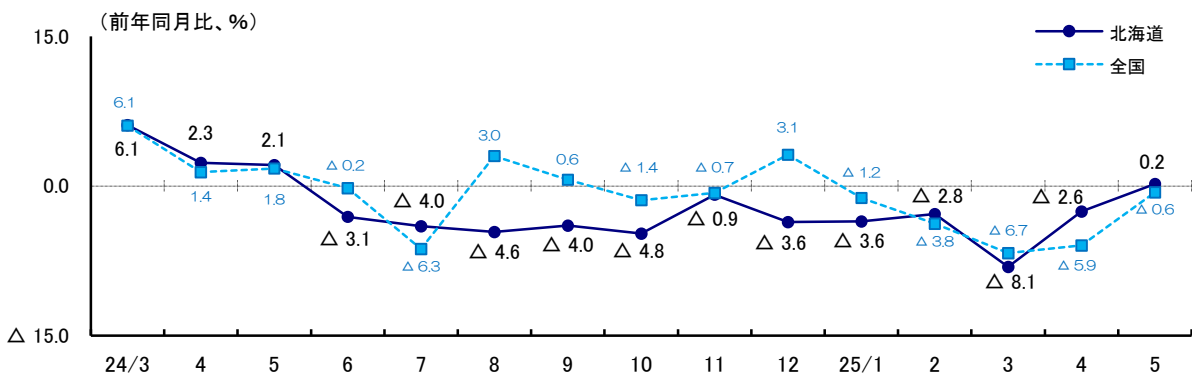
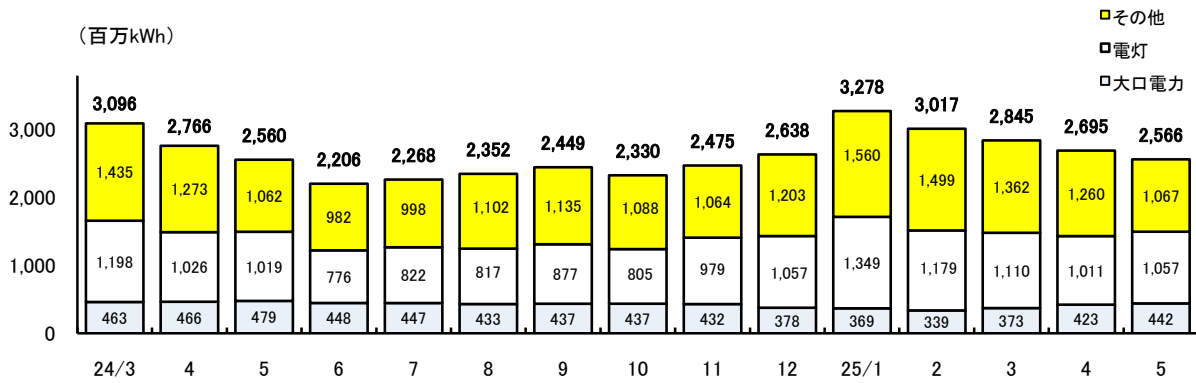


(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

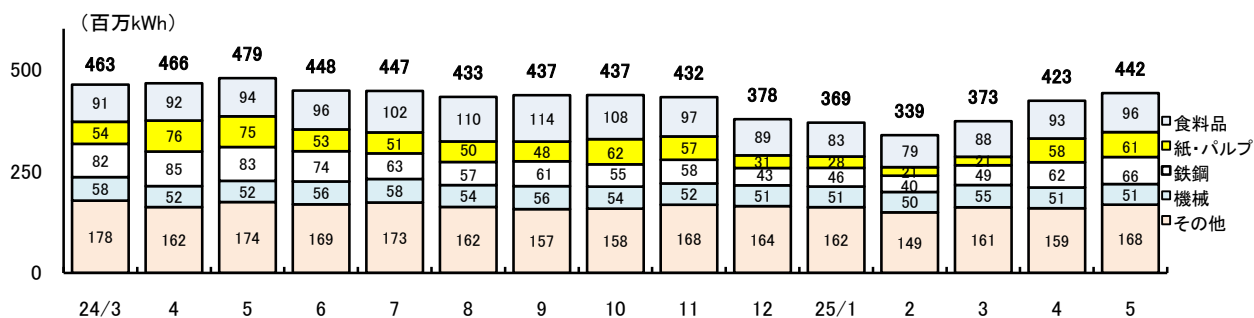
■ 電 力 ～ 電力需要は前年を上回り、大口電力は前年を下回った

◆ 電力需要（5月） ◆

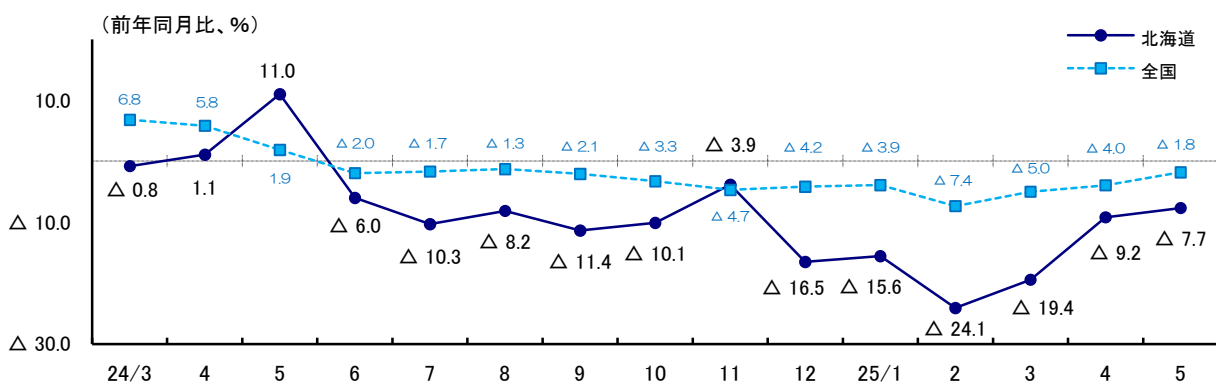
電力需要は2,566百万kWh、前年同月比0.2%増と12か月ぶりに前年を上回り、産業用需要の大口電力は442百万kWh、同7.7%減と12か月連続で前年を下回った。



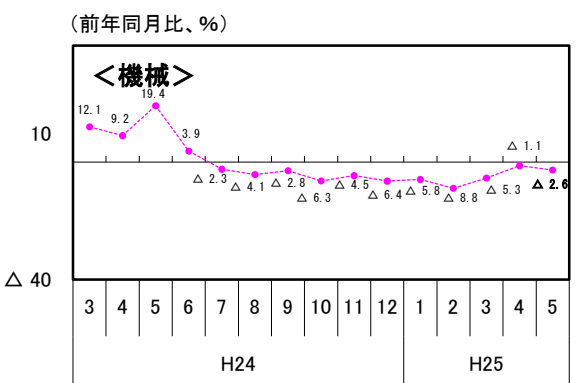
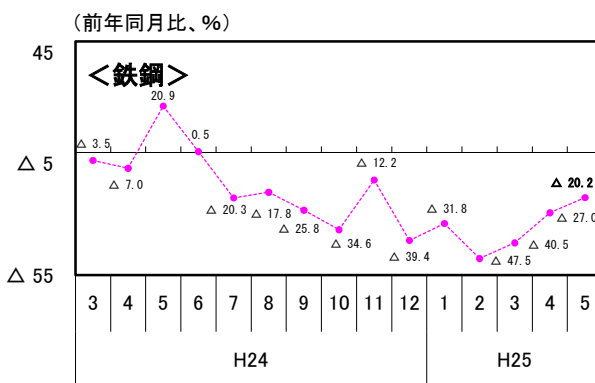
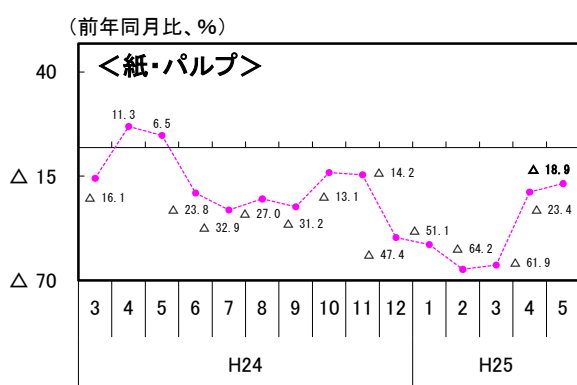
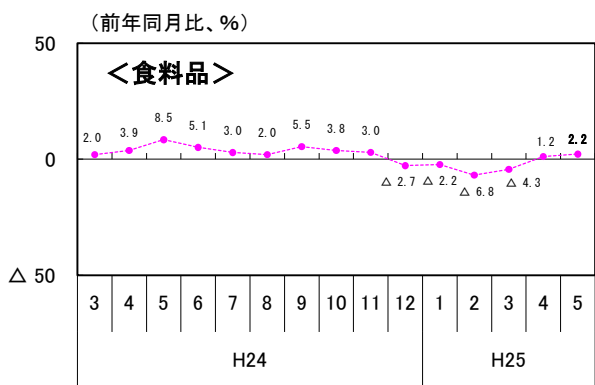
● 大口電力の内訳



● 大口電力の推移



業種別の大口電力では、食料品が前年を上回ったが、紙・パルプ、鉄鋼、機械が前年を下回った。

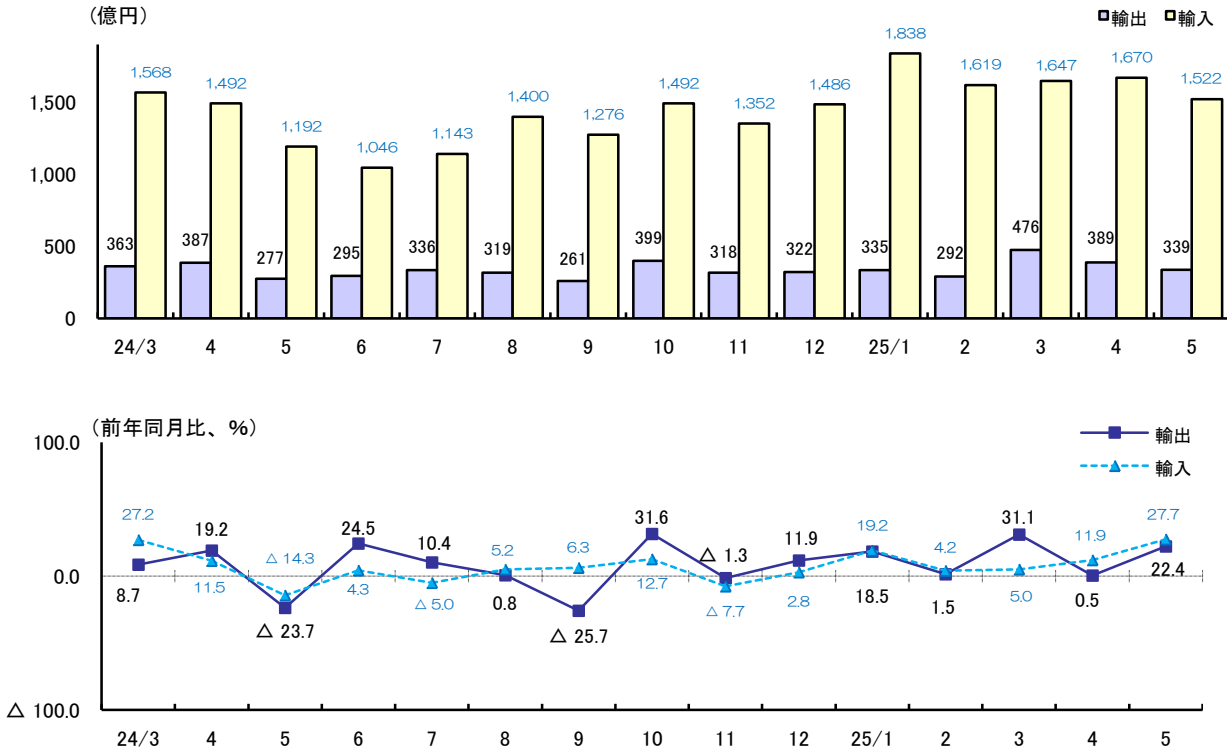


(電気事業連合会調べ)

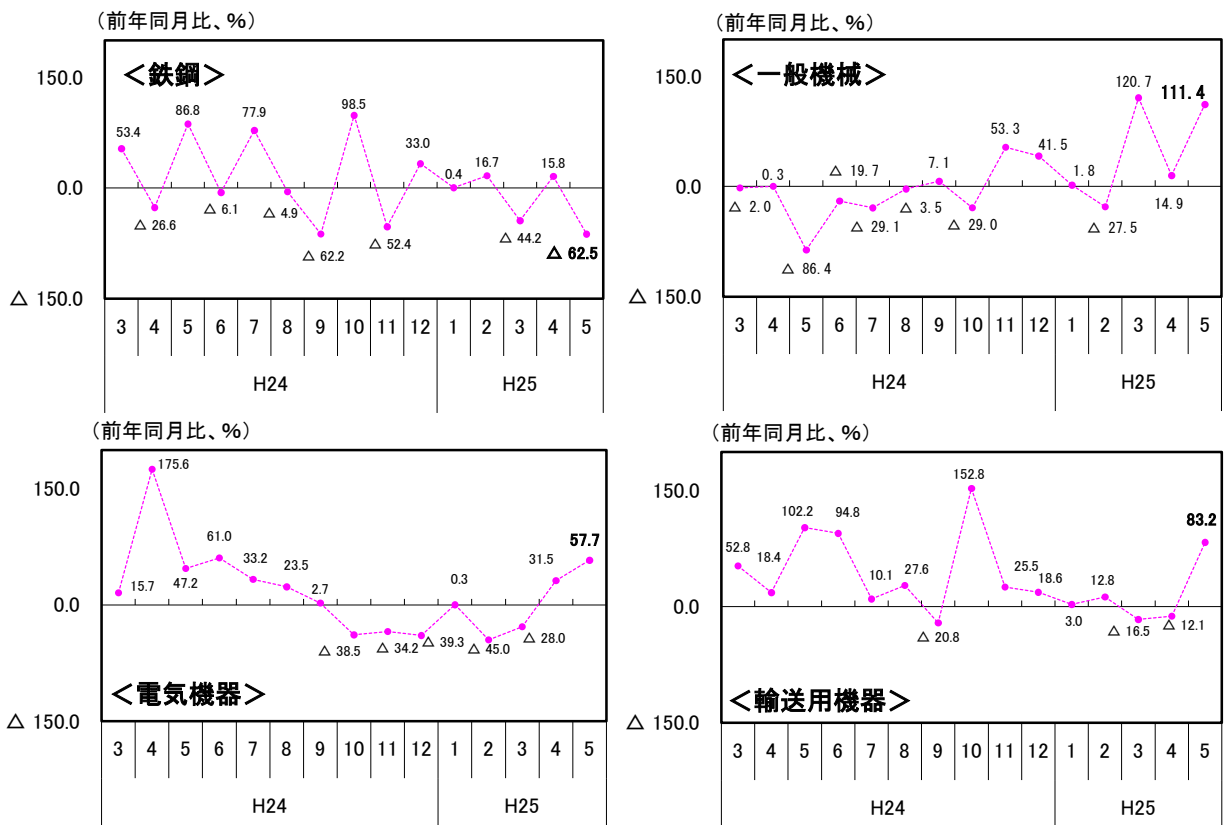
■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

◆輸出入額（5月）◆

輸出額は339億円、前年同月比22.4%増と6か月連続で前年を上回り、輸入額1,522億円、同27.7%増と6か月連続で前年を上回った。



輸出品別では一般機械、電気機器、輸送用機器が前年を上回ったが、鉄鋼が前年を下回った。

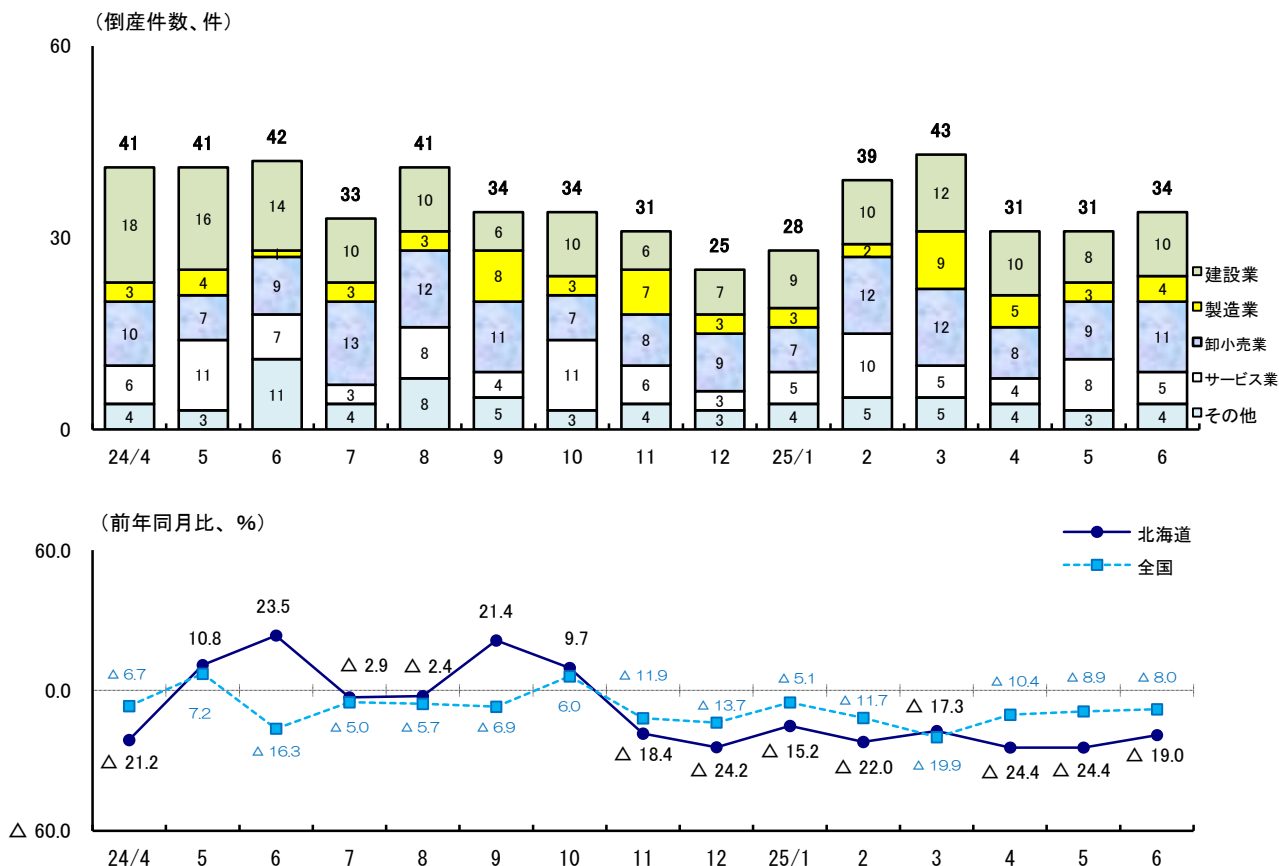


(財務省、函館税関調べ)

■企業倒産～ 件数、負債総額とも前年を下回った

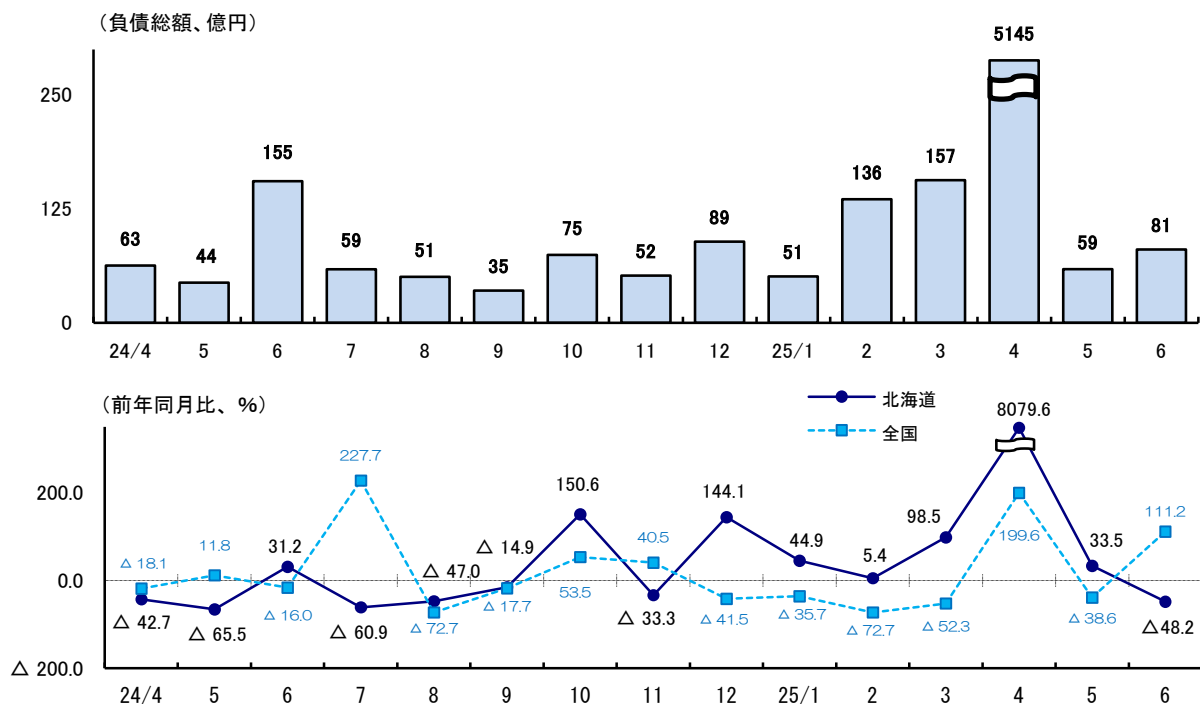
◆企業倒産件数（6月）◆

企業倒産件数は34件、前年同月比19.0%減と8か月連続で前年を下回った。



◆負債総額（6月）◆

負債総額は81億円、前年同月比48.2%減と7か月ぶりに前年を下回った。

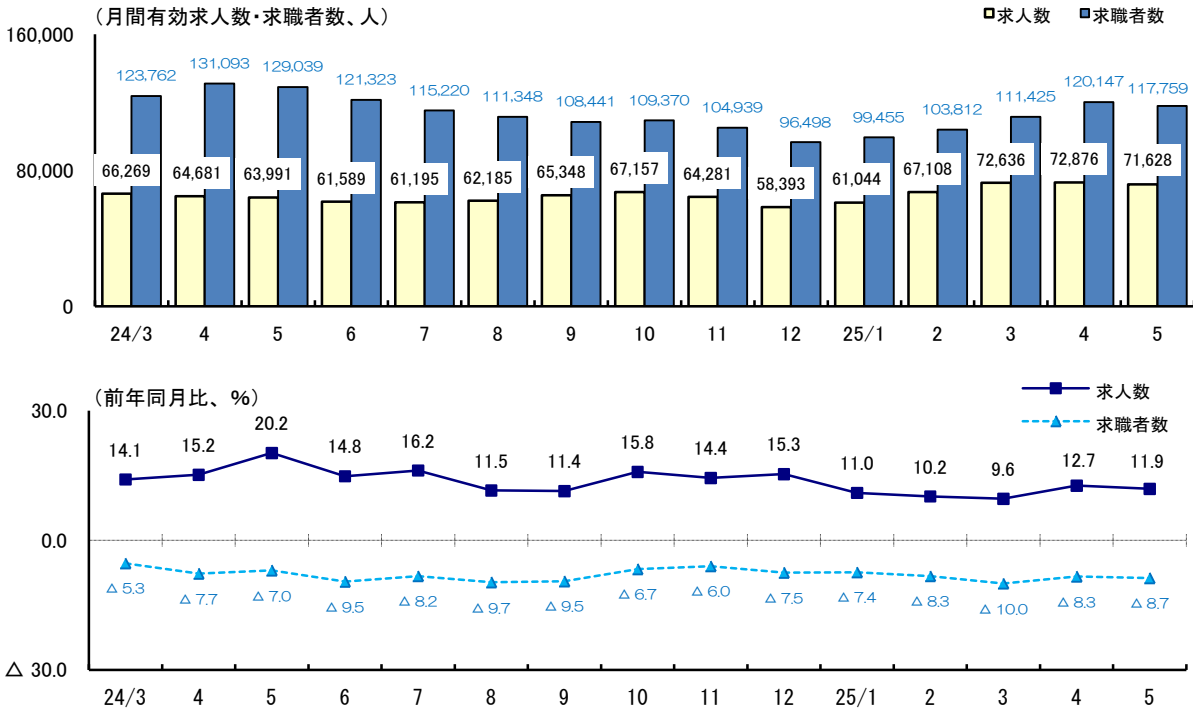


(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

■雇 用 ～ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直してきている

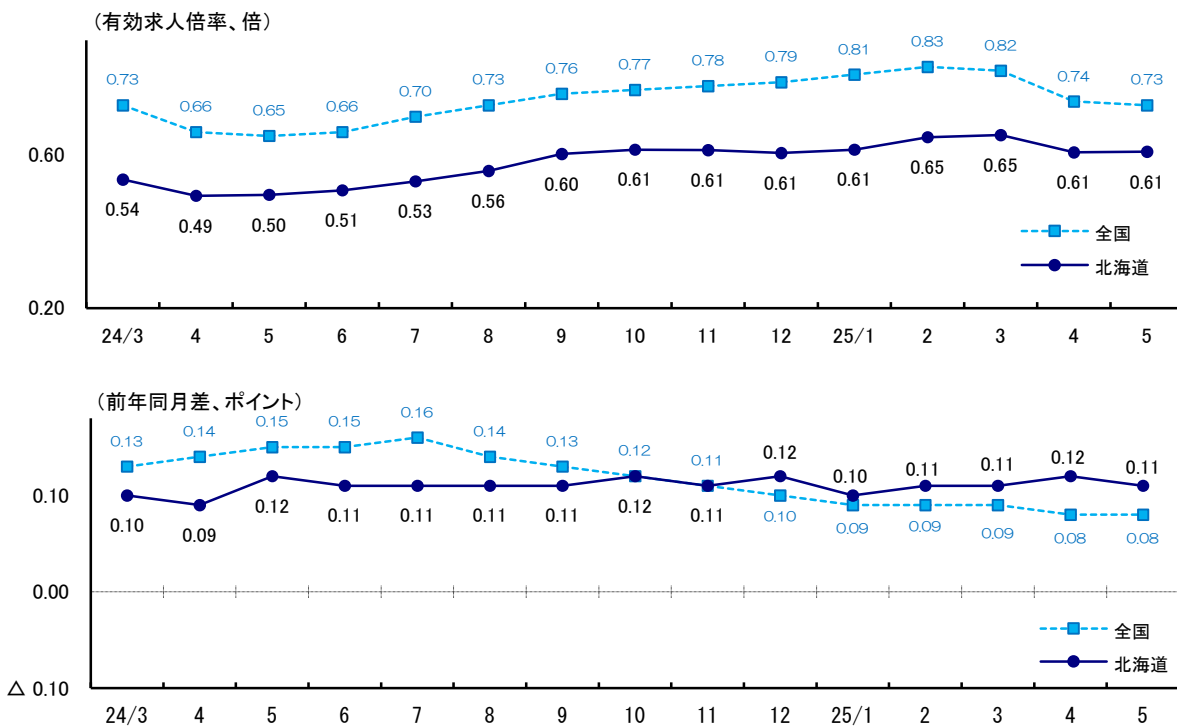
◆月間有効求人数・求職者数（5月）◆

月間有効求人数は7万1,628人、前年同月比11.9%増と40か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数は11万7,759人、前年同月比8.7%減と19か月連続で前年を下回った。



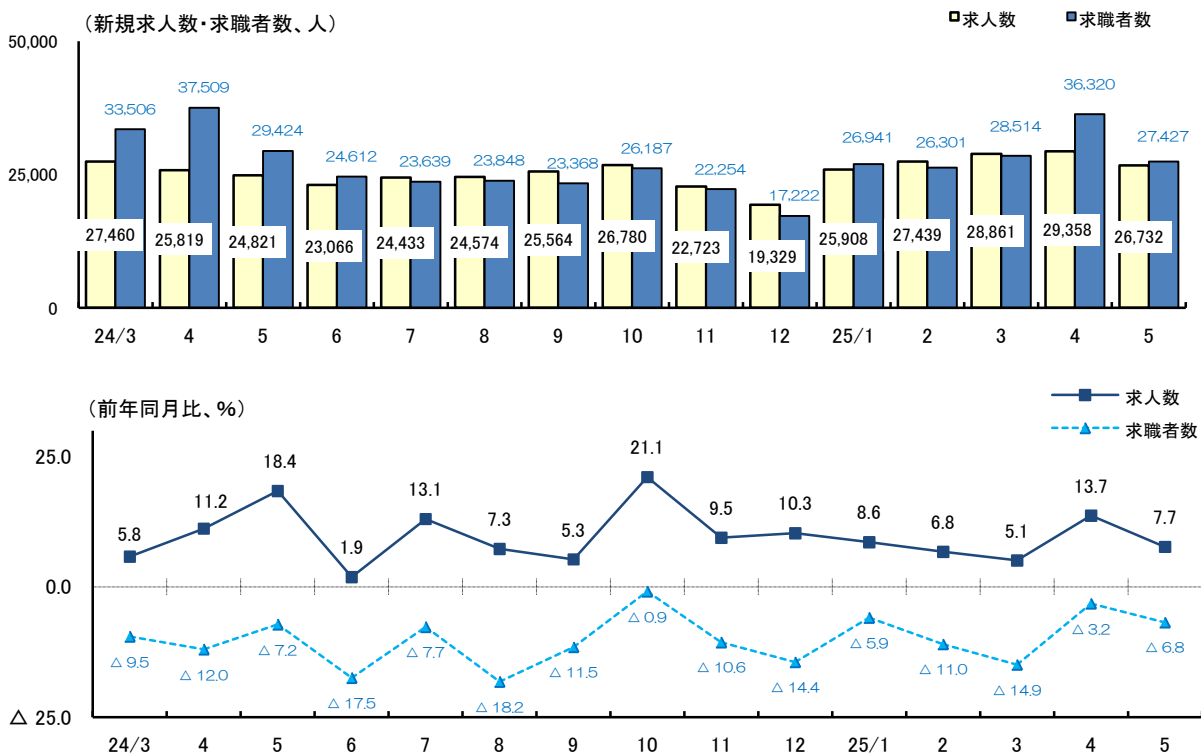
◆有効求人倍率（5月）◆

有効求人倍率は0.61倍、前年同月差では0.11ポイント増となり、40か月連続で前年を上回った。



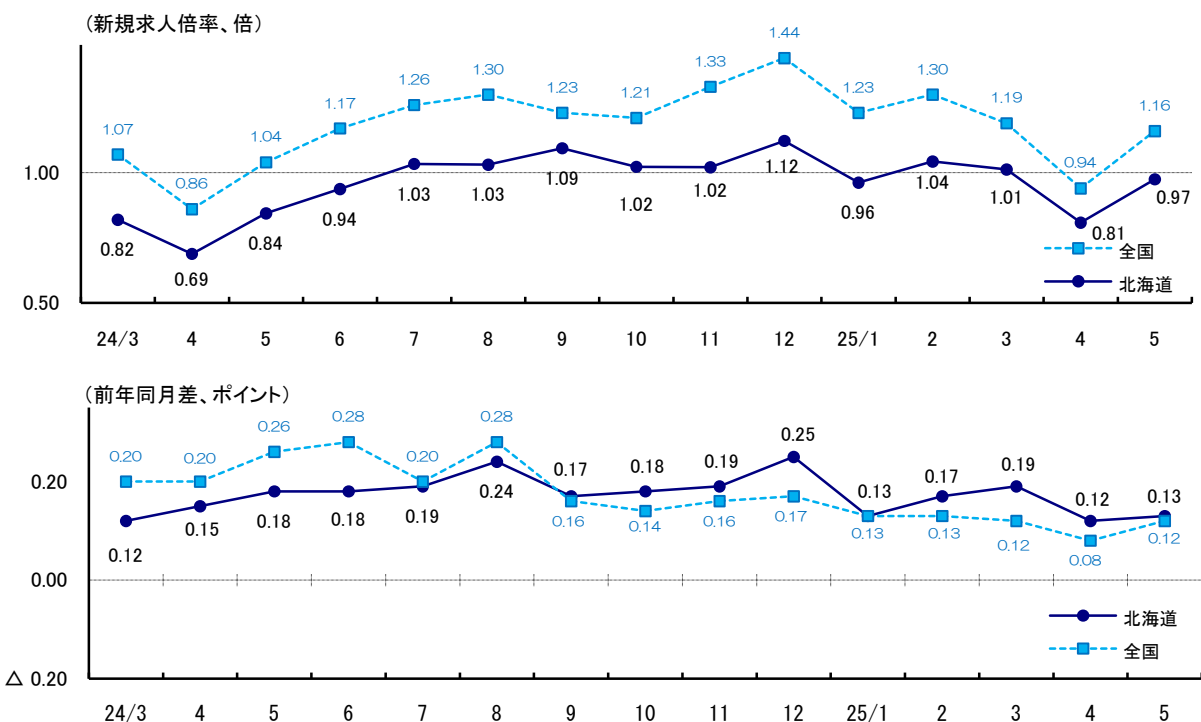
◆新規求人数・求職者数（5月）◆

新規求人数は2万6,732人、前年同月比7.7%増と40か月連続で前年を上回り、新規求職者数は2万7,427人、前年同月比6.8%減と19か月連続で前年を下回った。



◆新規求人倍率（5月）◆

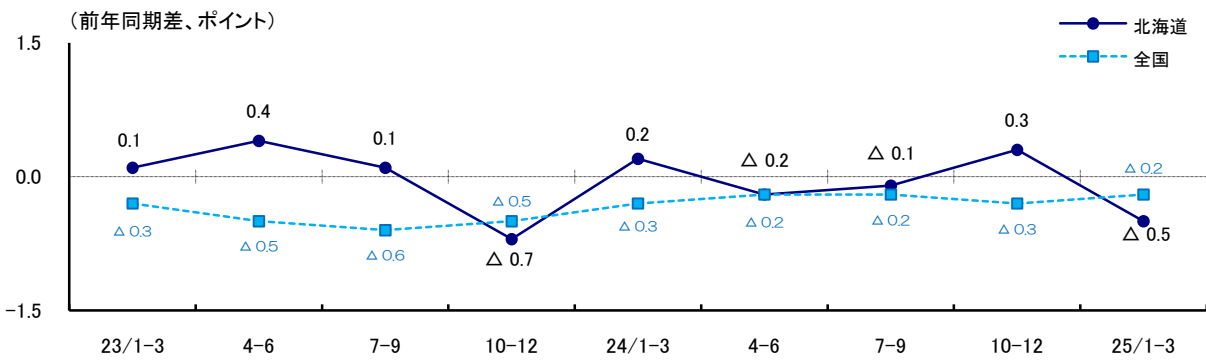
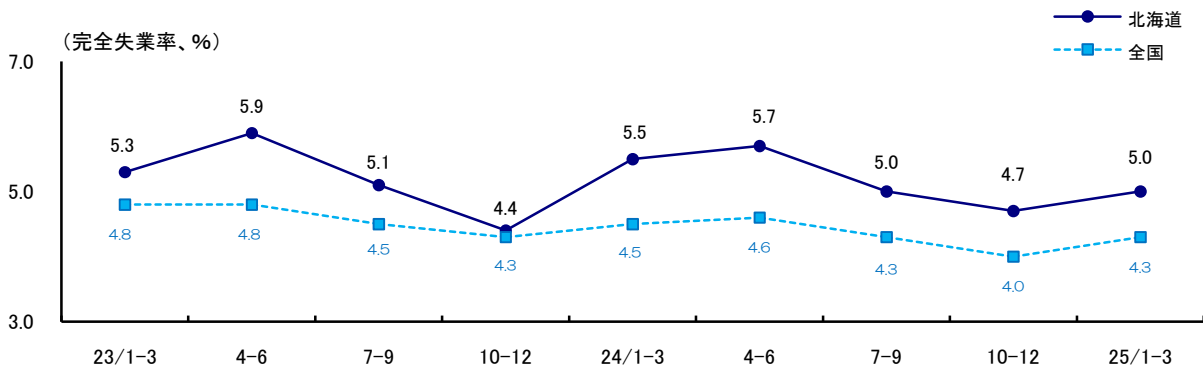
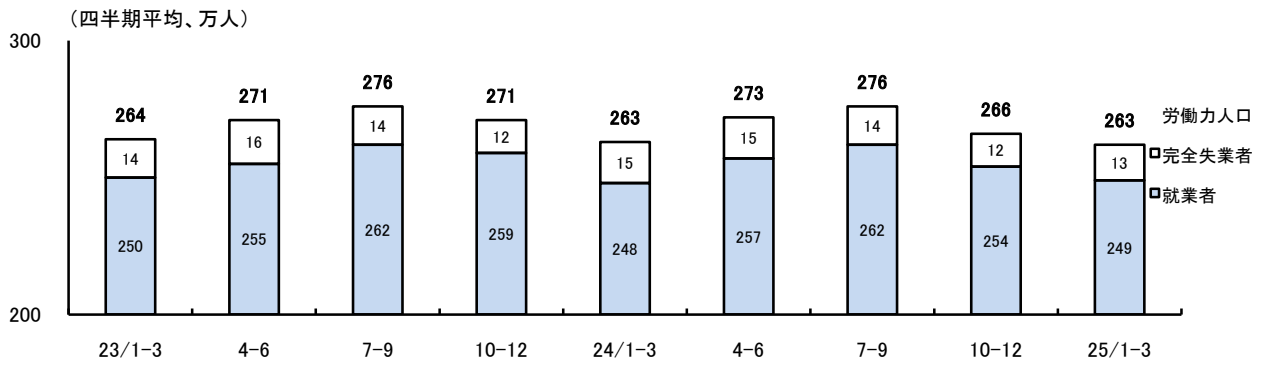
新規求人倍率は0.97倍、前年同月差では0.13ポイント増となり、24か月連続で前年を上回った。



(北海道労働局、厚生労働省調べ)

◆完全失業者数、完全失業率（25年1-3月期）◆

完全失業者数は13万人と前年同期に比べて2万人減少し、完全失業率は5.0%、前年同期から0.5ポイント低下した。



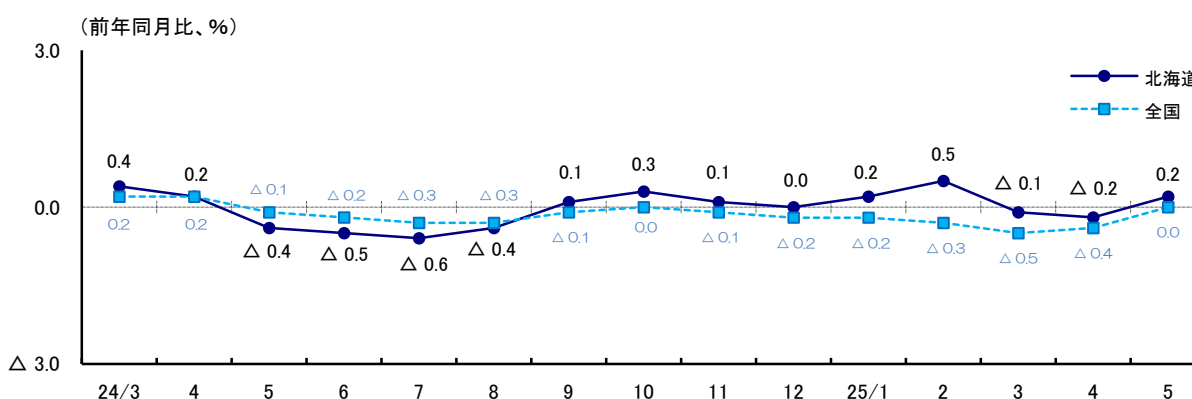
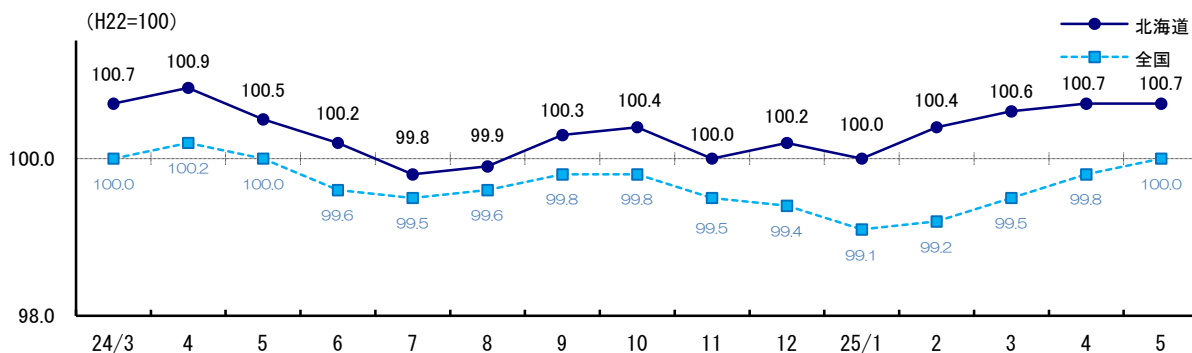
(総務省調べ)

※ 平成23年1-3月から7-9月までの全国値は、補完的な推計を行って算出した参考値

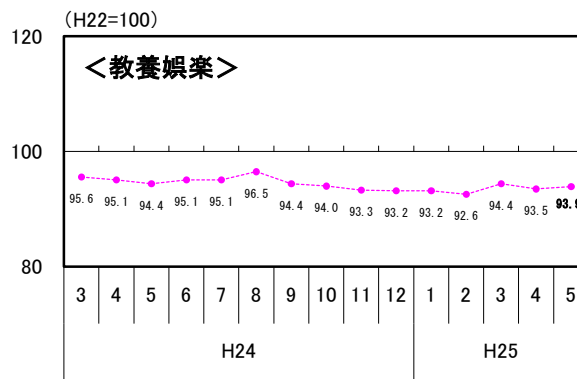
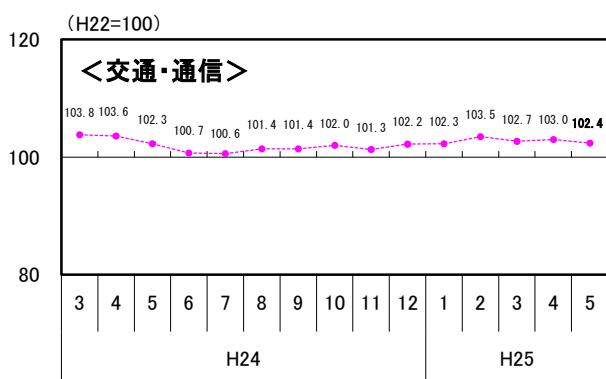
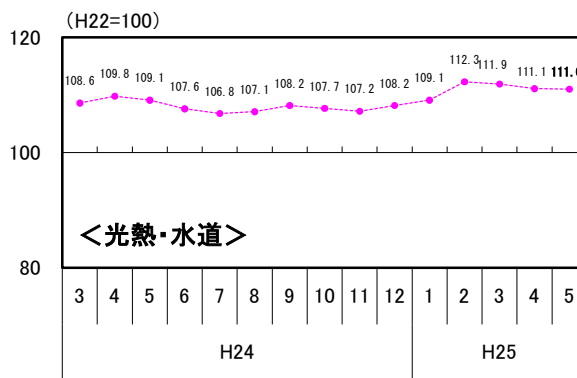
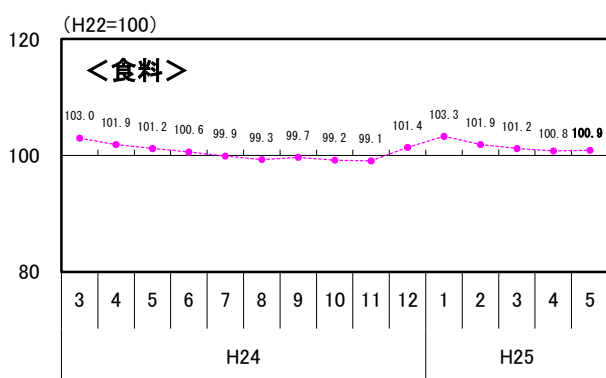
■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を上回った

◆消費者物価指数（5月）◆

生鮮食品を除く総合で100.7と、前年同月比0.2%増と3か月ぶりに前年を上回った。



前月からの動きを費目別でみると、食料、教養娯楽は上昇し、光熱・水道、交通・通信は低下した。

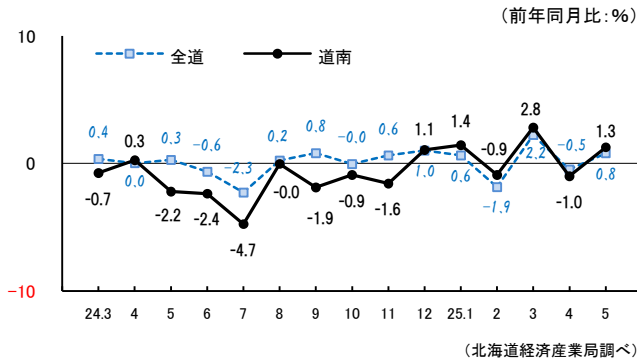


（総務省統計局調べ）

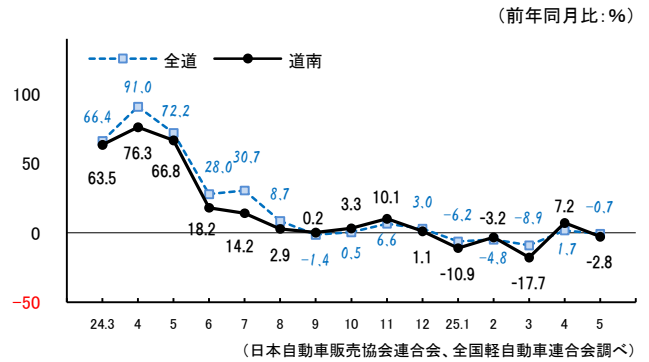
■ 地域の経済動向

道南圏

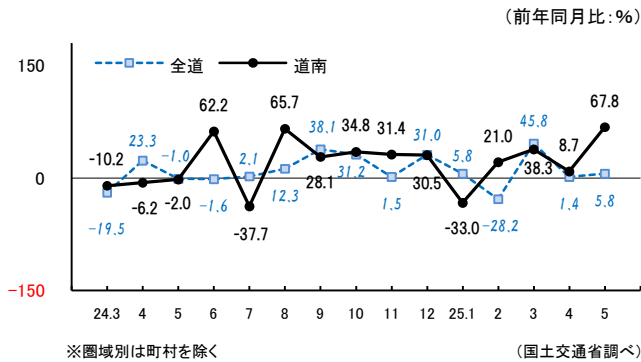
◆大型小売店販売額(全店、函館市) (5月)◆ 2か月ぶりに前年を上回った



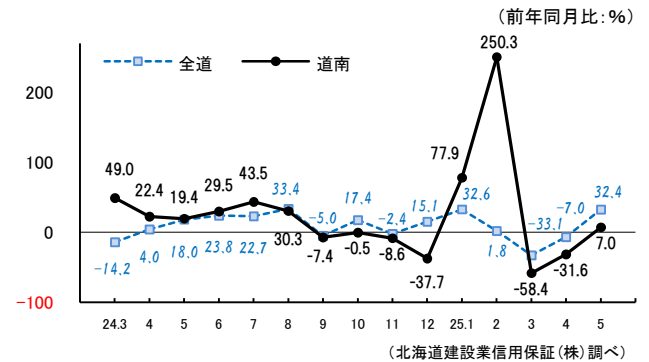
◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



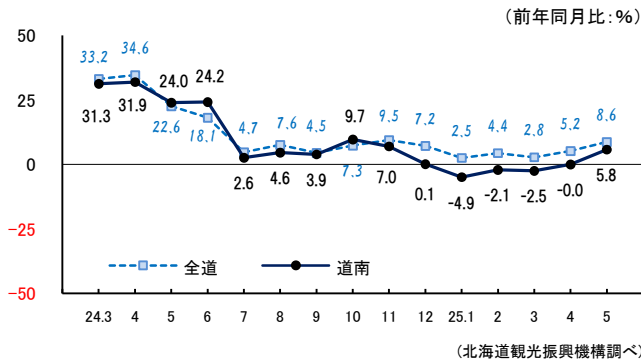
◆新設住宅着工戸数 (5月)◆ 4か月連続で前年を上回った



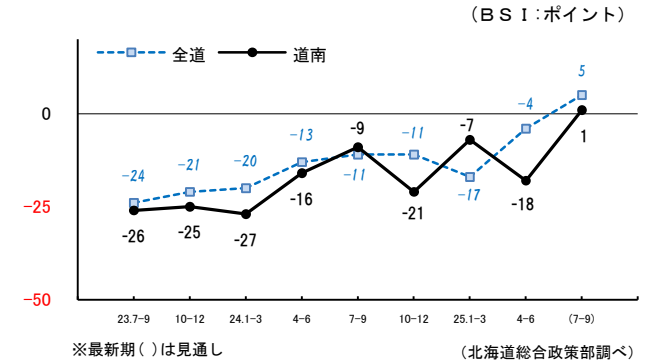
◆公共工事請負金額 (5月)◆ 3か月ぶりに前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆ 5か月ぶりに前年を上回った

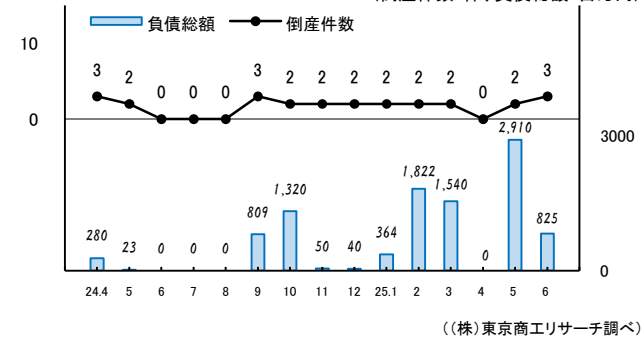


◆企業の業況感 (4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



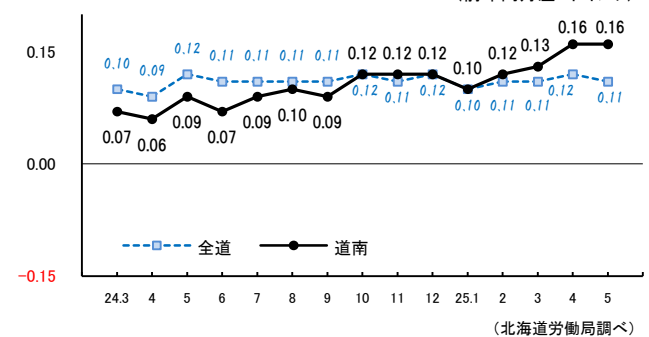
◆企業倒産 (6月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (5月)◆

36か月連続で前年を上回った
(前年同月差:ポイント)

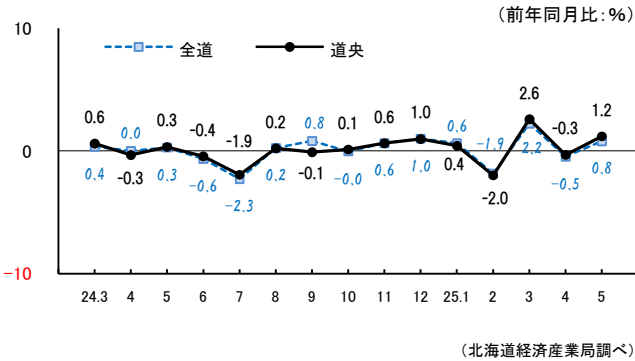


■ 地域の経済動向

道央圏

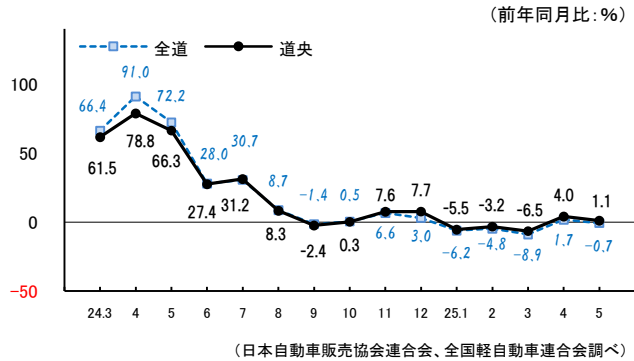
◆大型小売店販売額(5月)◆

(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)
2か月ぶりに前年を上回った



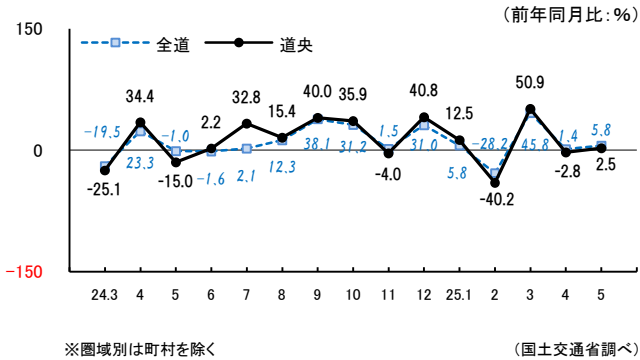
◆新車登録台数(乗用車)(5月)◆

2か月連続で前年を上回った



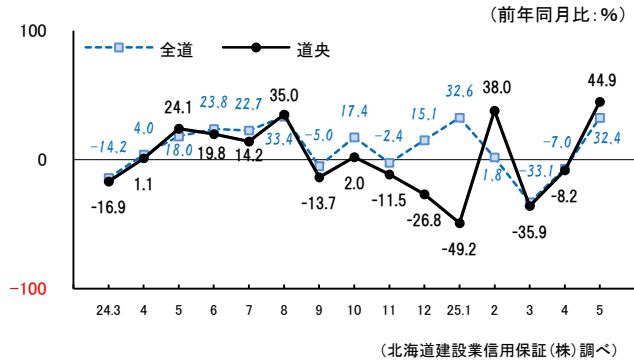
◆新設住宅着工戸数(5月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



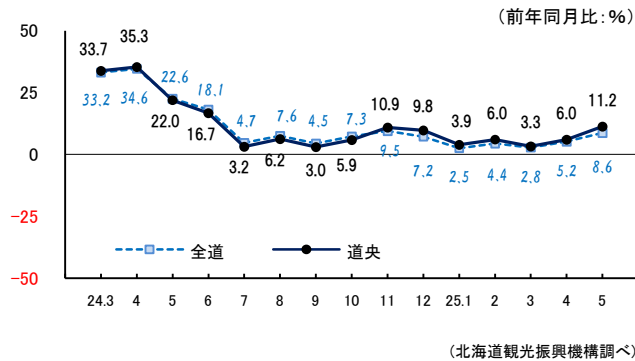
◆公共工事請負金額(5月)◆

3か月ぶりに前年を上回った



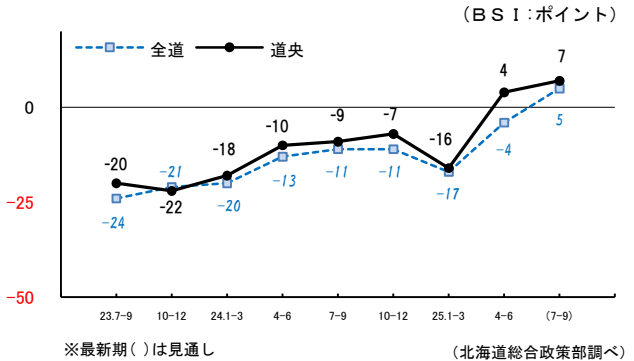
◆航空機利用による来道者数(着地別)(5月)◆

15か月連続で前年を上回った



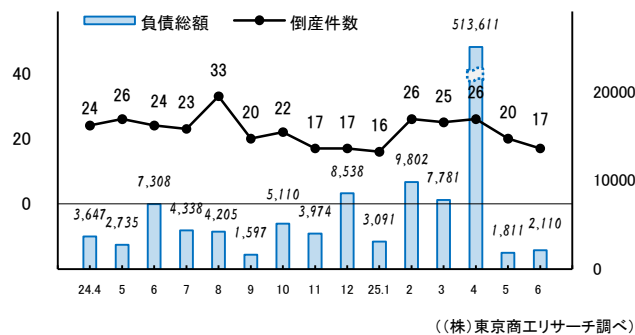
◆企業の業況感(4-6月期)◆

前期マイナスからプラスに転換した



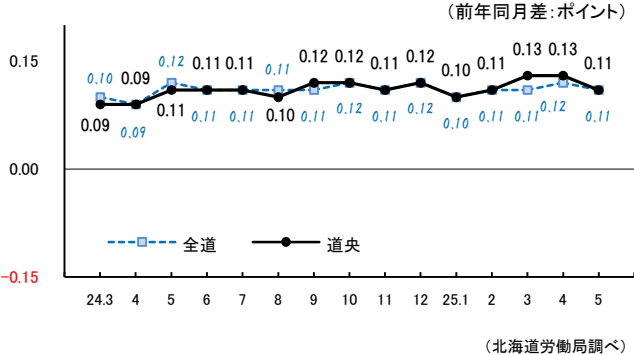
◆企業倒産(6月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(5月)◆

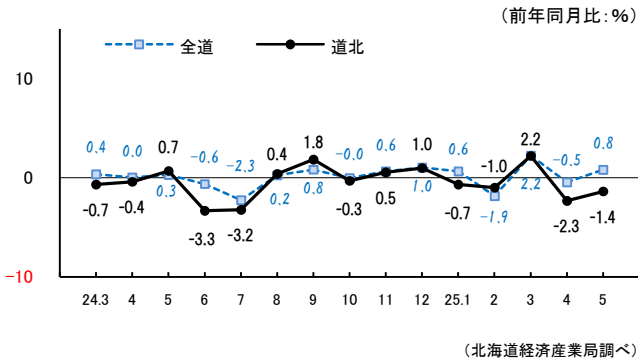
39か月連続で前年を上回った



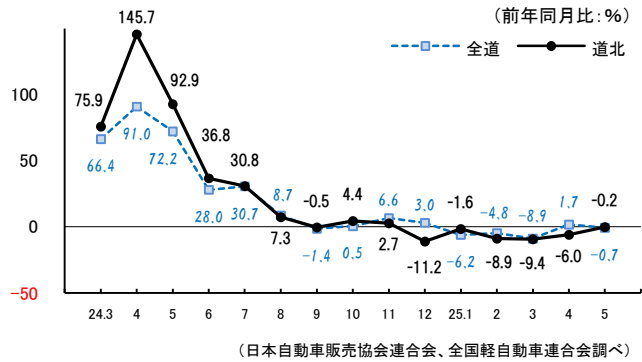
■ 地域の経済動向

道北圏

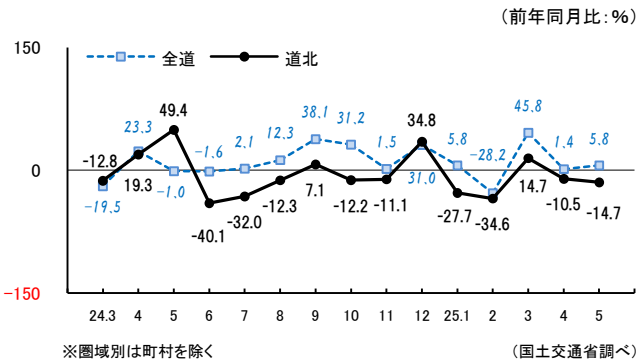
◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (5月)◆
2か月連続で前年を下回った



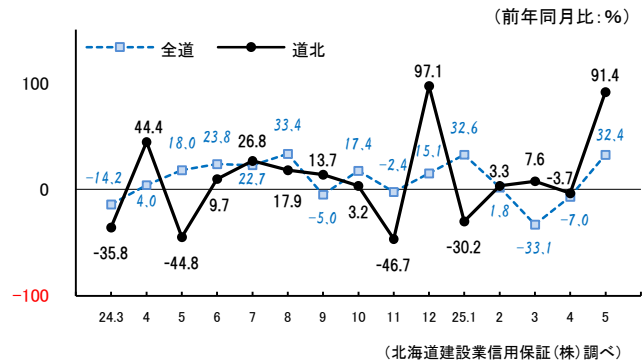
◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆
6か月連続で前年を下回った



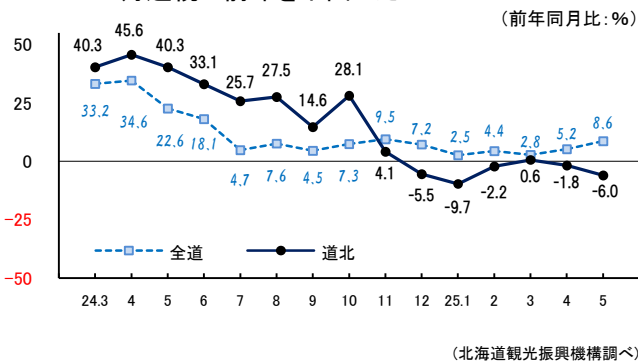
◆新設住宅着工戸数 (5月)◆
2か月連続で前年を下回った



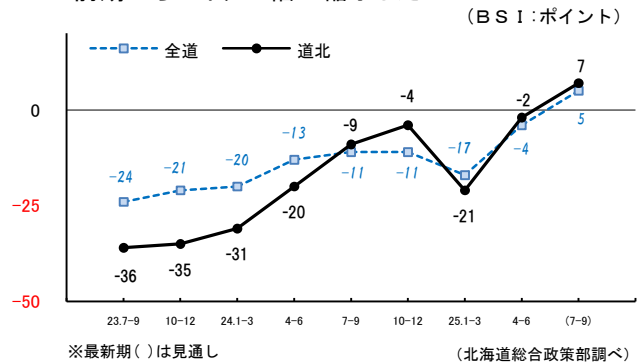
◆公共工事請負金額 (5月)◆
2か月ぶりに前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆
2か月連続で前年を下回った



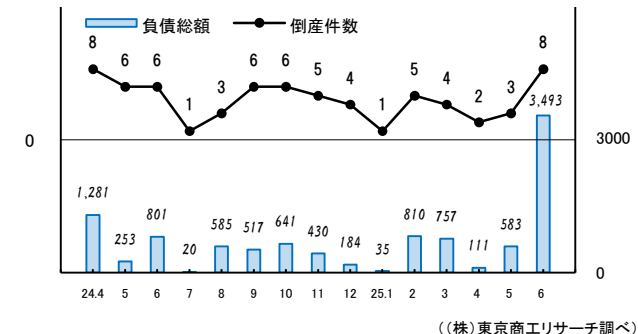
◆企業の業況感 (4-6月期)◆
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産 (6月)◆

10億円以上の大型倒産は1件発生した

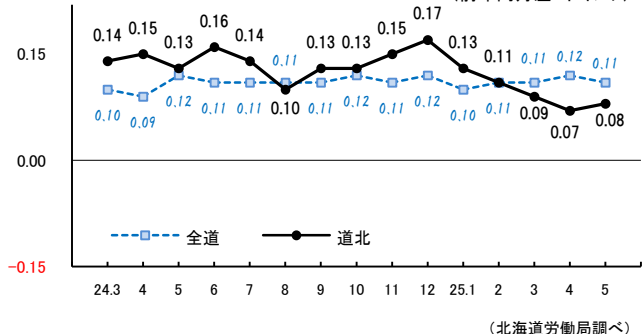
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (5月)◆

41か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

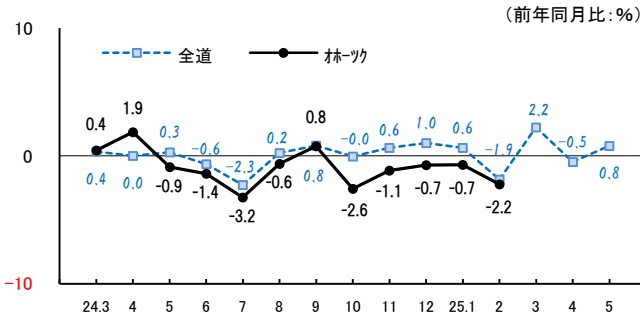


■ 地域の経済動向

オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店)(2月)◆

5か月連続で前年を下回った

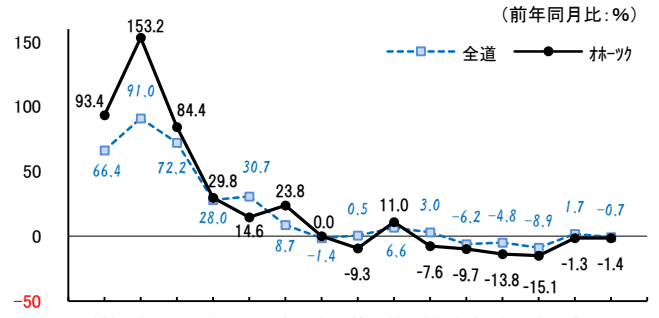


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(5月)◆

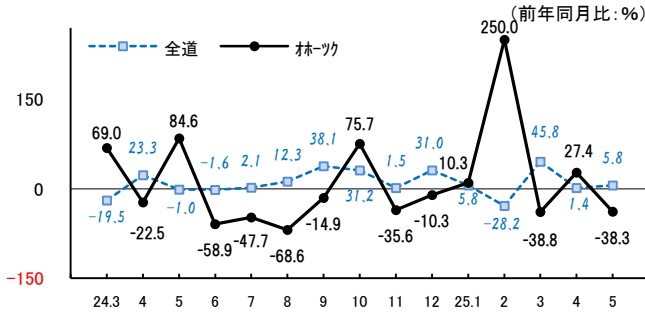
6か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(5月)◆

2か月ぶりに前年を下回った

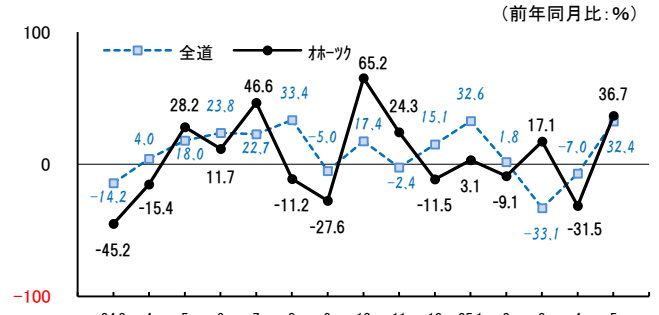


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(5月)◆

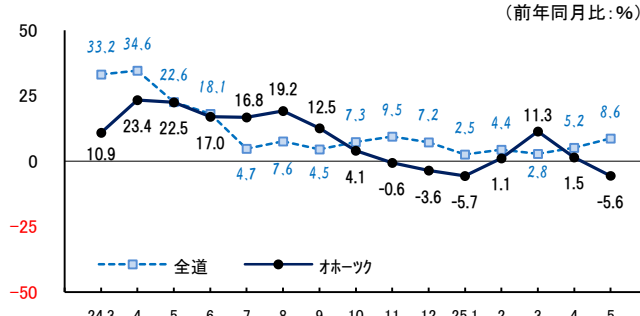
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(5月)◆

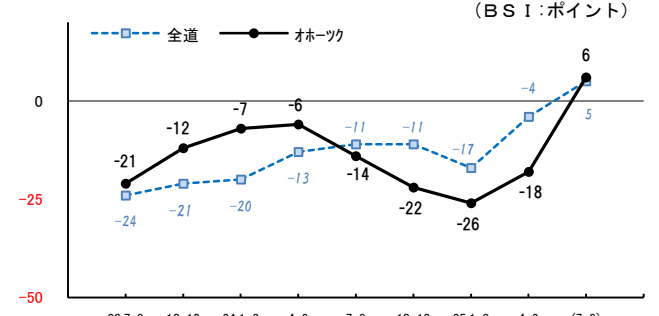
4か月ぶりに前年を下回った



(北海道観光振興機構調べ)

◆企業の業況感(4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



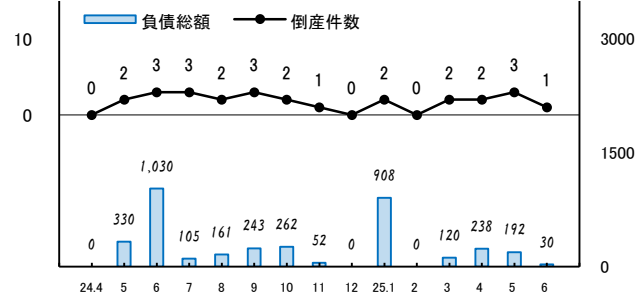
※最新期()は見通し

(北海道総合政策部調べ)

◆企業倒産(6月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

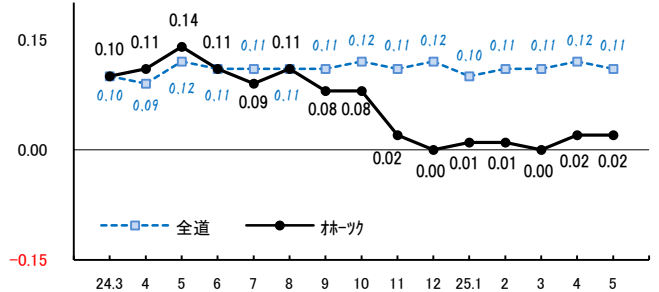


(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(5月)◆

2か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

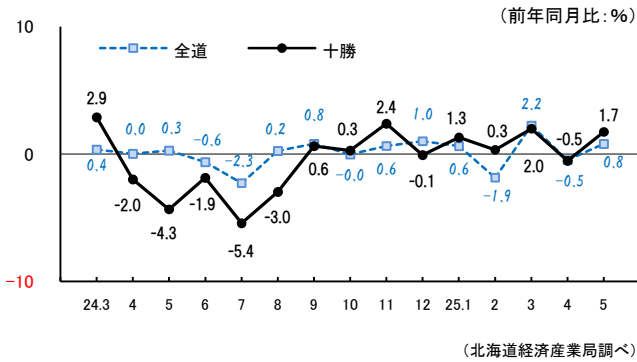


(北海道労働局調べ)

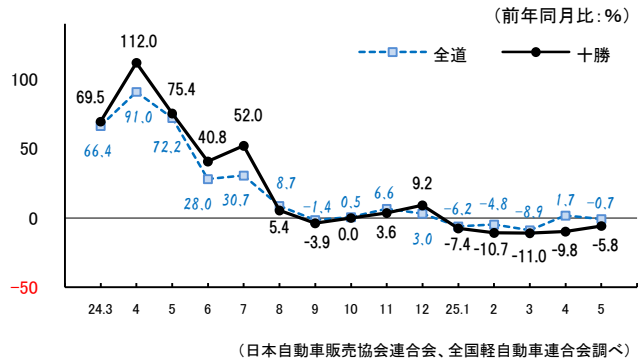
■ 地域の経済動向

十勝圏

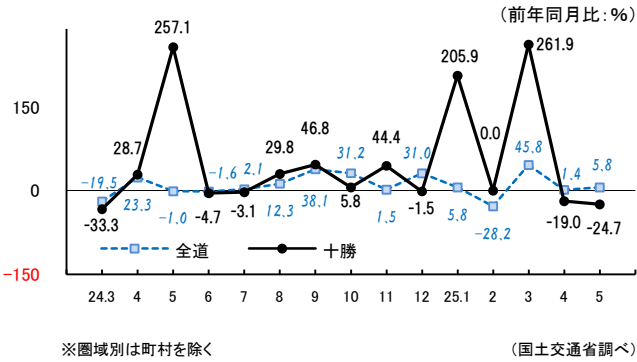
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (5月)◆
2か月ぶりに前年を上回った



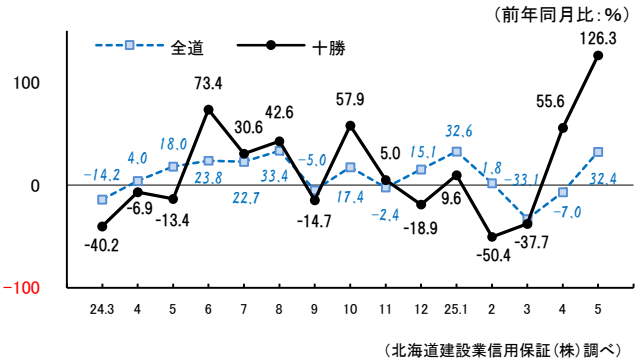
◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆
5か月連続で前年を下回った



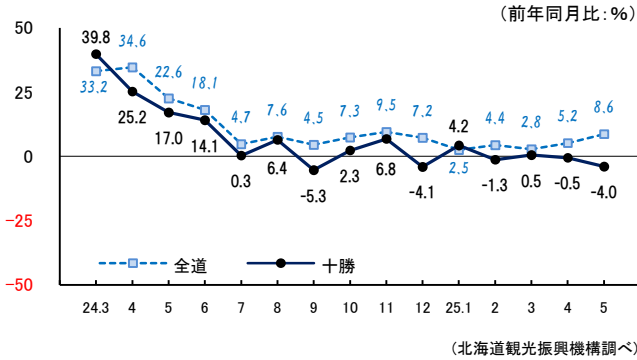
◆新設住宅着工戸数 (5月)◆
2か月連続で前年を下回った



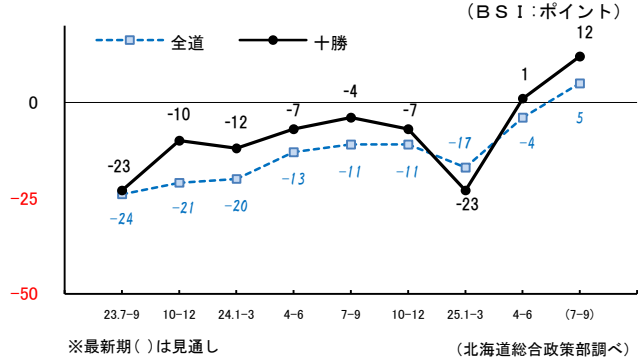
◆公共工事請負金額 (5月)◆
2か月連続で前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆
2か月連続で前年を下回った

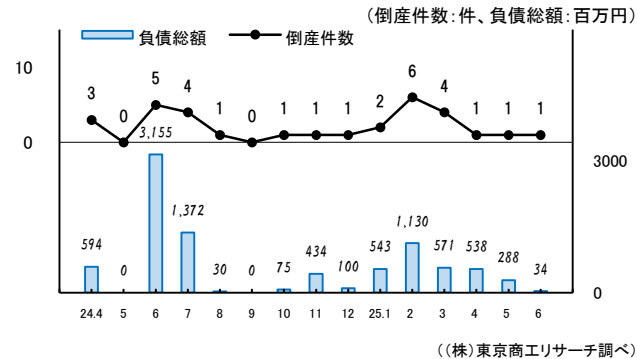


◆企業の業況感 (4-6月期)◆
前期マイナスからプラスに転換した



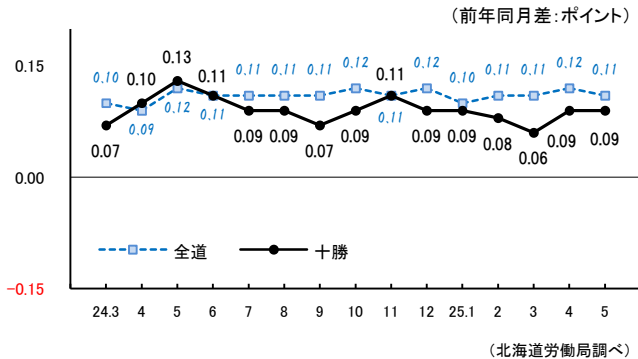
◆企業倒産 (6月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率 (5月)◆

19か月連続で前年を上回った

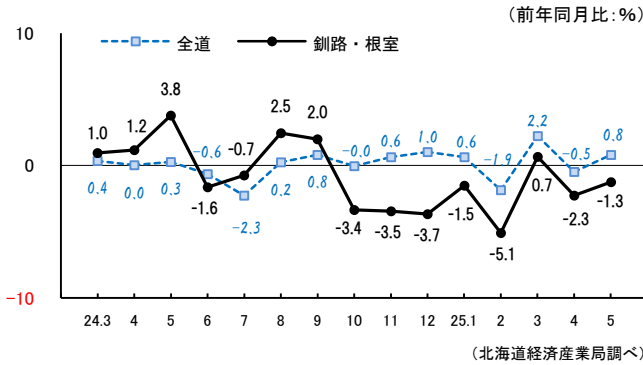


■ 地域の経済動向

釧路・根室圏

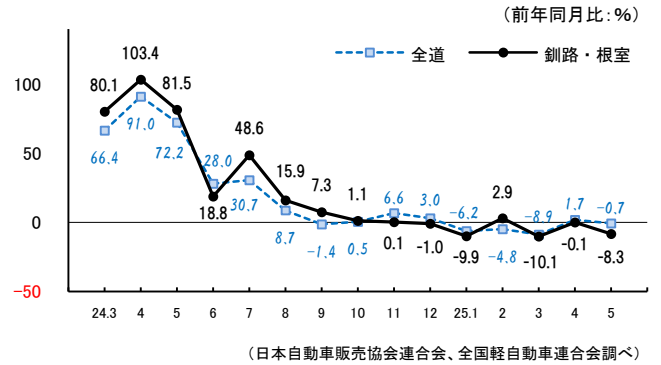
◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (5月)◆

2か月連続で前年を下回った



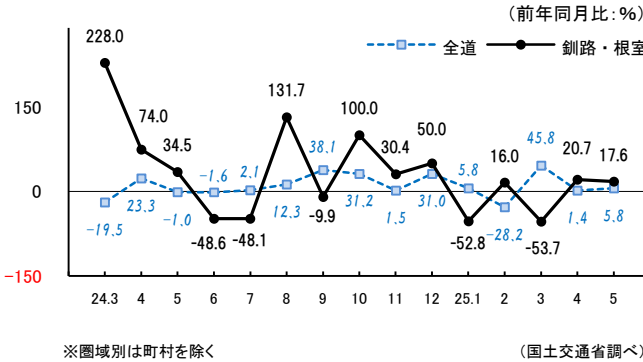
◆新車登録台数(乗用車) (5月)◆

3か月連続で前年を下回った



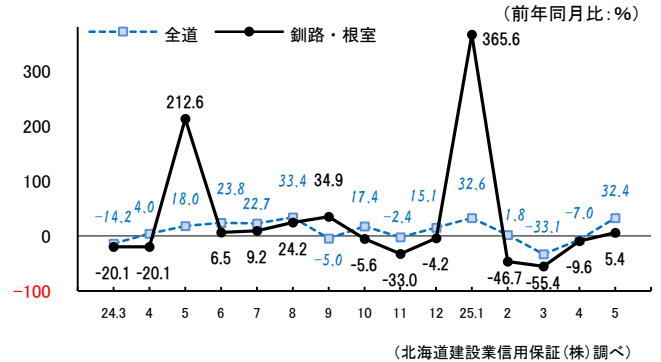
◆新設住宅着工戸数 (5月)◆

2か月連続で前年を上回った



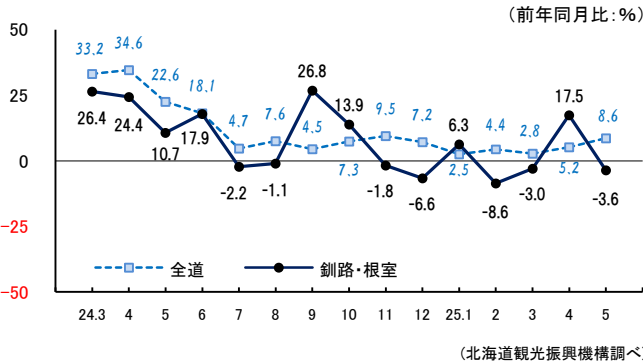
◆公共工事請負金額 (5月)◆

4か月ぶりに前年を上回った



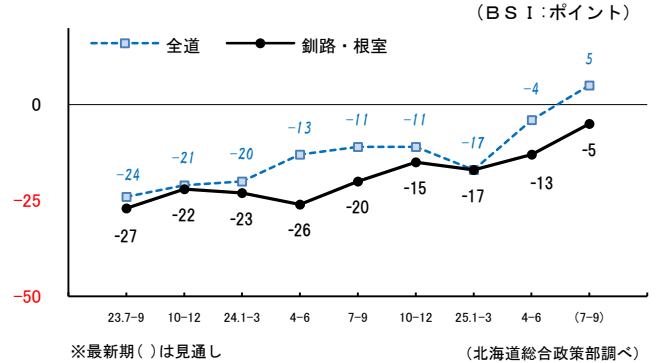
◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)◆

2か月ぶりに前年を下回った



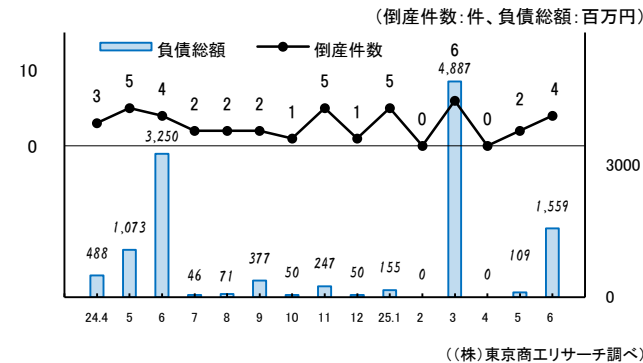
◆企業の業況感 (4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



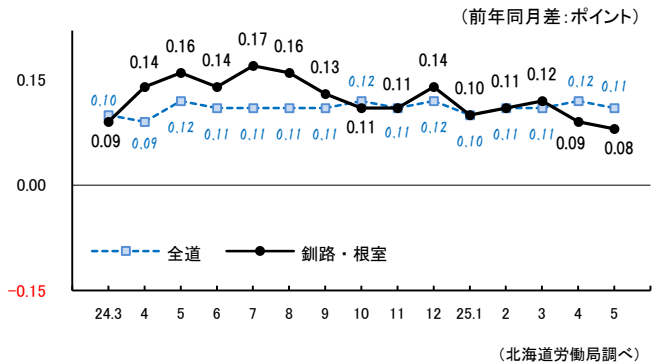
◆企業倒産 (6月)◆

10億円以上の大型倒産は1件発生した



◆有効求人倍率 (5月)◆

42か月連続で前年を上回った



■全国の景気

～景気は、着実に持ち直しており、自立的回復に向けた動きもみられる。～

＜内閣府月例経済報告(平成25.7.23)から＞

(6月) 景気は、着実に持ち直している。

我が国経済の基調判断

- ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、製造業を中心に改善している。設備投資は、おおむね下げ止まっており、一部に持ち直しの動きもみられる。
- ・企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。
- ・個人消費は、持ち直している。
- ・物価の動向を総合してみると、デフレ状況は緩和しつつある。

先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

政策の基本的態度

政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組む。このため、6月14日、「再生の10年」に向けた基本戦略を示す「経済財政運営と改革の基本方針」及び「日本再興戦略」を閣議決定した。今後、本方針に基づき経済財政運営を進める。

日本銀行には、2%の物価安定目標をできるだけ早期に実現することを期待する。

各論

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、おおむね下げ止まっており、一部に持ち直しの動きもみられる。
- ・住宅建設は、増加している。
- ・公共投資は、堅調に推移している。
- ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸入は、横ばいとなっている。貿易・サービス収支の赤字は、減少している。
- ・生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、製造業を中心に改善している。企業の業況判断は、改善している。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している。
- ・国内企業物価は、緩やかに上昇している。消費者物価は、このところ横ばいとなっている。
- ・株価(日経平均株価)は、12,600円台から14,500円台まで上昇した。対米ドル円レートは、94円台から100円台まで円安方向へ推移した。

最近の経済動向
平成25年7月号

編集・発行 北海道総合政策部政策局経済調査課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>